

都市計画道路に関する市民説明会（第2回）

議事録

開催日時：令和7年8月3日（日） 15：30 ～ 20：00

開催場所：南小学校

出席者：市長、副市長、都市整備部長、都市計画課長、事務局

参加者：132名

※ 音声不明瞭により聞き取れない発言については「・・・」と記載しています。

※ 参加者の名称は「●●●」と記載しています。

発言者	発言内容
都市整備部長	皆様、こんにちは。それでは定刻となりましたので、小金井市における、都市計画道路に関する市民説明会、を始めさせていただきます。本日はお暑い中、お集まりをいただきまして、ありがとうございます。本日、司会を務めます、小金井市都市整備部長の若藤と申します。よろしく願いいたします。それでは、開会にあたりまして、市長の白井より御挨拶を申し上げます。
市長	皆さん、こんにちは。本日は大変お暑い中、都市計画道路の説明会に多数お越しいただきまして、誠にありがとうございます。さて、後程司会の方で御案内をいたしますが、本説明会は2部構成になっておりまして、まず前半の第1部では、市施行の優先的に整備する都市計画道路の候補路線選定のための検証及び調査について、を御説明申し上げます。令和6年度に、小金井市独自の取組として、都市計画道路に関する検証委託及び都市計画道路に関するアンケート調査委託を行いました、この度その内容がまとまりましたので、説明をさせていただくものであります。なお、第1部の説明の後、質疑応答等を挟んで、第2部では都施行の優先整備路線について、この間の経過・現時点での状況の市としての説明を行います。また、第2部が始まる際に、改めて私の方から、その件も含めての御挨拶を冒頭させていただきます。また、併せて、昨日の状況を踏まえて一言申し上げます。昨日行われました、東小学校での第1回目の説明会におきまして、我々の、こちらの進行の課題もございまして、質疑の時間を十分にとることができず、説明会については、不成立ではないかという多くの声が上がりました。私たちといたしましても、その点は認めざるをえない状況だと考えております。本日は、想定より、さらに時間を延長することも視野に入れておりますが、できます限り、円滑な進行に御協力いただければと思います。それでは、どうぞよろしくお願いいたします。
都市整備部長	市長の御挨拶にもありましたが、本日の説明会は、第1部と第2部にテーマを分けまして、第1部では、将来に向けた市施行の優先的に整備する都市計画道路の選定の参考とするため、3月に実施したアンケートの結果等について、また、第2部では、既に選定されている都施行の優先整備路線、小金井3・4・1号線、3・4・11号線外に係るこの間の経過と現時点での市の状況について、それぞれ説明をさせていただきます。第1部と第2部の間には、短時間の休憩を挟ませていただきまして、質疑応答も含めまして、全体で2時間半程度を目安に進めさせていただきたいというふうに思っておりますが、本日は、時間の延長も考えながら、進めて参りたいと考えてございます。会の進行に御協力をお願い申し上げます。また、議事につきましては、後日公開する議事録の正確を期するため、録音をさせていただき、記録のため、会場の様子を写真撮影させていただきますので、御了承をお願いいたします。なお、録画等の取扱いについてでございます。資料として、本日の説明会に当たってのお願いを同封しており、その中で市民の方のプライバシー保護のため、写真や動画の撮影及びライブ配信や録音は禁止とさせていただきます、とさせていただいておりますが、昨日の説明会での皆様の御意見を踏

	まえまして、本説明会については、参加者の方の写真や動画の撮影及びライブ配信や録音は、質問、意見の発言をする方の許可を得たものに限り可能、と整理させていただきます。その場合は、発言の冒頭に、録画等は許可する旨をおっしゃってください。なお、市側の説明者の写真や動画の撮影等については、制限はございません。 (会場からの声あり)
都市整備部長	進めさせていただいて、後程ということで。 (会場からの声あり)
都市整備部長	今回は、先程御説明させていただいた整理とさせていただきたいと存じますので。そのような取扱いとさせていただきたいと思います。申し訳ございませんが。 (会場からの声あり)
都市整備部長	進行についてですね、色々と御意見をいただいておりますが、今回につきましては、今お話をさせていただいた整理とさせていただきたいと存じます。申し訳ございませんが、進めさせていただきたいと存じます。まず、ここで資料の説明、確認をさせていただきたいと存じます。本日の資料は。 (会場からの声あり)
都市整備部長	はい。では今マイクをお持ちしますので、御説明いただければと思います。皆様少しの間お待ちいただきたいと存じます。
参加者	前原町に住む●●●と申します。ぷんぷんアクション小金井というものをやっております。写真については分かりました。市長と市の職員、それから写ってもいいと言う市民の場合のみ、撮影できるということで。音源なんですけれども、やっぱり記録ですから、昨日の紛糾した説明会を、どう議事録取るんですか。市の記録だけで。できないですよ。無理ですよ。これは、公的なものなのだから、市民団体より、やっぱり記録残したいんですよ。どういう話し合いをしたか。だから、それについては、音源は認めるべきです。条件付きでいいと思います。そのまま公開しない、というようなね、そういう条件があっていいと思います。ただ、市民って、その市民の名前も出さない、というような形でいいと思います。それで、音源は、各自、市民団体なり、取るというのは許可すべきだと思います。それからなんですけど、動画についてはですね、公的なものなので、やはり、クローズドにすべきじゃないと思うんです。ただ、すごく難しい、動画っていうのは、色々なふうに使われるから、難しいのは理解できます。であれば、報道機関なり、取材申し込みがあった時には、ライブ配信はなしで、録画収録にすればいいんじゃないですか。市側がどういうふうに話して、どういうふうに話が紛糾するのかわからないのか、そういうことを、例えば、市民の音声が入っちゃってますっていうなら、そこは加工すればいいんですよ。できる範囲でやればいいと思います。記録は残すのが、今すごく重要な話し合いをしてるんだから、それは認めるべきだと思います。よろしく御検討ください。
都市整備部長	今整理をさせていただきまして、先程御説明させていただきました市側の説明の写真や動画の制限等につきましては、特にありませんので、そのような取扱いということで。今お話をいただいたのは、会場にいらっしゃる市民の皆様の発言についての、ということでよろしいですか。それについては、冒頭、許可を発言される方の許可をいただいての整理ということで、運用させていただくということで、御理解いただくということでよろしいでしょうか。動画と録音等に関しましては、こちら側の制限はないということで、市民の方に関しては、御発言される時に、その辺りの御理解をいただくということの整理ということで、進めさせていただきた

	いと存じます。よろしいでしょうか。はい、すみません、お待たせいたしました。 それでは、ここで配布資料の確認をさせていただきます。本日の資料は、9点ございます。 1点目、本日の説明会に当たってのお願い、A4、1枚になります、 2点目、都市計画道路に関する市民説明会 次第、A4、1枚になります、 3点目、資料1 都市計画道路に関する市民説明会、A4、72ページ、 4点目、資料2 都市計画道路に関する検証、A4、カラー12ページ、 5点目、資料3 都市計画道路整備状況図、A4、カラー1枚、 6点目、資料4 第2部、都施行の優先整備路線に係るこの間の経過と現時点の市の状況について、A4、25ページ、 7点目、資料5 優先整備路線の検証について報告書、A4、25ページ、 8点目、資料6 小金井3・4・1号線及び小金井3・4・11号線外案内図、A4、カラー1枚、 9点目、意見・質問用紙、A4、1枚、でございます。 お持ちでない方がいらっしゃいましたら、お申し出いただきたいと存じます。係の者がお届けいたします。 (会場からの声あり)
都市整備部長	資料の不足がある方の質問、要望をいただいていますので。資料の不足のある方いらっしゃいますでしょうか。 (会場からの声あり)
都市整備部長	資料があるかないかで、後程の質疑でいただけるような。 (会場からの声あり)
都市整備部長	それにつきましては、御説明させていただいた後に、御意見としていただければな、というふうに思っております。 (会場からの声あり)
参加者	中町に住んでます●●●と申します。録画、録音全てOKです。よろしくお願いします。今、資料について何項目か、この封筒の中に入っているということで説明いただきました。なぜ、あえて今手を挙げさせていただいたかということですね、昨日、あれ、結果的には3時間ぐらいになりましたかね。主に第2部のテーマに係る資料としてですね、市長報告っていうのが、皆さんのお手元には配られてないんですよ。これはですね、第2部を、なぜ私はここに来てるかということと併せて言えばですね、やっぱり市長の考えが、当初の中止見直しから、事実上容認へ、ということが表現されたのが、この総合的判断市長報告なんですね。これで、今、市長はどういう思いで今もいるのかということ、私は強く聞きたいわけですね。今日の2部での議論はそれが中心になると思います。ひょっとしたらですね、私は市長報告、その時、公になった段階で、プリントを持っていますけれども、今ホームページには載ってません、市長報告っていうのは。だから、今日ここに来られた方はですね、市長報告とかですね、総合的判断って言われてもですね、それは何なんだったという方だったいらっしゃるはずですよ。そこに、大事な市長の公約を、横に置いちゃってですね、背を向けてと言ってもいいけども、新しい方針を出されたわけですね。それ自身は、市議会のやりとりの中で、不適正な部分があるっていうので、形式的には撤回されています。それは私も理解しています。ただ、そこに書かれていた、市長の判断の経緯。こういうことで、こういうことで、ほぼ容認、特に3・4・11についてはですね、容認するという、論理的な流れっていうのは、決して撤回はしてないんですよ。となればですね、それを心配して、早く市民説明会を開いて欲しい、あるいは、こういう場を作っ

	で欲しいということですね、求めてきたわけですね。それに関係する、だから市長報告丸々全文じゃなくてもいいですよ。その不適切な部分は外して結構ですよ。外した上でも、論理的に容認だという流れはですね。まとめられると思うんで、市長報告の骨子というものをですね。今日はもう間に合わないでしょう。事実上ね。明日の報告、市民説明会の場にはですね、提供して欲しいと、追加して欲しいというふうに思います。もし、昨日、今日の人たちも、知らないで帰るんですよ、これ。今日説明が2部でありますけれども、市長報告の中身についてはほとんど触れませんよ、白井市長は。何で変わったのかということについては触れてないですよ。それは後で議論になることだろうと思って、これ以上言いませんけれども、とにかくその判断も含めて、それが妥当性あるものなのか、その時の、一旦決断して発表したものが、妥当性があったのかどうかということを、これは知る権利があるんですよ。それに基づいて議論をしたんですよ。ということで、資料に追加をお願いします。
都市整備部長	資料につきましては、市長報告につきましては撤回をしておりますので、そのような整理ということで、進めさせていただいております。それで、内容につきまして、お答えできるものにつきましては、後程ですね、市長からでもお話をさせていただければと思いますが、資料につきましては撤回しておりますので、そういう整理ということで、市長報告については、御理解をいただきたいと思います。 (会場からの声あり)
都市整備部長	少しお待ちください。 (会場からの声あり)
市長	今司会の方が説明したように、まず市長報告そのものは撤回をいたしましたので、撤回したものをここでちょっとお配りするっていうことを我々としては考えなかったです。ただ、今おっしゃったことは、我々もちょっと受けとめますんで、ちょっと今すぐどうこうとはなりません、今いただいた意見を含めて、今後、どう対応するか考えさせていただきます。
都市整備部長	それでは、このような整理で進めさせていただきたいと思います。ここで、市の出席者の紹介をさせていただきます。
都市整備部長	改めまして、市長の白井でございます。
市長	白井でございます。よろしくお願いします。
都市整備部長	副市長の神山でございます。
副市長	副市長の神山でございます。
都市整備部長	都市計画課長の田部井でございます。
都市計画課長	田部井です。よろしくお願いします。
都市整備部長	私は都市整備部長の若藤でございます。その他、事務局として都市整備部の職員が出席しております。
事務局	よろしくお願いいたします。
都市整備部長	次に、補足事項になります。お手元に配布いたしました意見・質問用紙でございますが、

都市計画課長	本日の説明会における皆様の御意見や御質問を伺うものでございます。取扱い等につきましては、意見・質問用紙に記載をしておりますが、是非御協力をお願いいたします。併せて、本説明会では、質疑応答の時間を設けておりますが、本日は時間の延長も考えながら進めさせていただきますが、施設をお借りしている関係上、時間等にも限りがございますので、進行に御協力をいただきたいと存じます。できる限り円滑な進行に努めますが、昨日から不手際な点が多々あるかと存じます、皆様の御理解・御協力をお願いいたします。本日、質疑応答等ができなかったものについては、先程御案内いたしました意見・質問用紙にてお願いをいたします。それでは、事務局より第1部の説明をさせていただきます。説明につきましては、着座にて失礼をいたします。 それでは、第1部、市施行の優先的に整備する都市計画道路の候補路線選定のための検証及び調査について説明をいたします。 3ページを御覧ください。第1部で御説明する内容は、令和6年度に、市が独自の取組として行いました、都市計画道路の検証結果、アンケートの調査結果に関する内容について、御説明するものです。 現在、東京都、特別区、26市2町で検討しております、東京における都市計画道路の整備方針（仮称）の内容ではございませんので、予め御了承ください。本日、皆様からの御意見や御要望をいただき、今後、市施行の候補路線を選定してまいります。 それでは第1部の説明の流れです。まず、都市計画道路について御説明し、その後、都市計画道路の検証結果、アンケート調査結果の順で、御説明いたします。 まず初めに、都市計画道路についてです。6ページを御覧ください。都市における道路の機能は、大きく3つございます。 まず1つ目が、交通機能です。人、モノの移動等、都市における円滑な移動を確保するための機能です。 2つ目に、空間機能です。都市環境や都市防災の面で良好な空間を形成し、インフラ等の収容空間を確保するための機能です。 3つ目に、市街地形成機能です。都市構造を形成し、街区を構成するための機能です。都市計画法に基づき決定された道路を、都市計画道路と言います。 7ページです。小金井市の都市計画道路の変遷です。小金井市の都市計画道路は、主に昭和37年に決定されております。現在決定しております都市計画道路は、16路線、延長約31kmで、令和7年3月時点の整備率は、約48.8%となっています。 8ページです。都市計画道路の整備は、様々な手法により整備を実施しております。概ね10年間で優先的に整備すべき路線を定めた事業化計画を策定し、事業を推進してまいりました。現在の事業化計画である第四次事業化計画は、計画期間が令和7年度までの計画となっています。 続きまして、9ページです。小金井市内の都市計画道路の整備状況図です。皆様に配布しております、右上に資料3と書いておりますカラーの資料と同様のものです。整備済みが黒色の実線、整備中が黒色の点線、未整備が青色の実線となっており、第四次事業化計画で優先整備路線として選定された路線が赤色の実線となっています。 続きまして、10ページは、上位計画の位置付けについてです。市では、令和3年度から令和12年度を計画期間とする第5次小金井市基本構想を策定しており、各種の取組方針が示されています。その中の、環境と都市基盤では、自然と都市が調和した人に優しいまちづくりを示しています。 11ページは、小金井市都市計画マスタープランについてです。都市計画マスタープランでは、将来の、まちのあるべき姿やまちづくりの方針等、おおむね20年後のまちの将来像を示しています。まちづくりのテーマや基本目標を設定しており、基本目標の2は、人・モノの円滑な移動を支えるまち、となっています。次に、都市計画道路の検証結果について御説明いたします。 13ページを御覧ください。検証の目的についてです。まず、第四次事業化計画が令和7年度に目標年次を迎えること、また、第四次事業化計画では、市が施行する都市計画道路を選定
--------	--

しておらず、現在整備中の都市計画道路も一定の進捗があること、さらに、市内の都市計画道路の多くは、決定後60年以上経過しており、現時点での検証が必要なこと、これらのことから、道路を取りまく動向を踏まえ、検証を行いました。

14ページを御覧ください。検証の概要としましては、第1に、第四次事業化計画の評価指標を踏まえて、市独自の評価指標を加えて評価いたしました。これは、評価指標を19項目設定し、評価しております。

第2に、交通流動面から見た評価を実施しました。これは、将来交通量推計を行い、混雑度等を確認しております。

第3に、概算事業費の算定を行いました。これは、過去の市の事業における事業費等を参考に、各路線の各区間の概算事業費を算定しました。

第4に、都市計画道路の整備優先性の検証を行っています。

それでは、各項目について御説明いたします。まずは、①第四次事業化計画の評価指標を踏まえて市独自に評価、について説明します。皆様にお配りしております、右上に、資料2、と書いてありますカラーの資料と併せて御覧ください。

16ページです。評価指標は、道路の機能である、交通機能、空間機能、市街地形成機能の3つの機能に着目して設定しており、第四次事業化計画の評価指標である15項目に、市独自の4項目の指標を加え、19項目を設定しております。それぞれの評価指標について、各路線の各区間が該当すれば、丸又は三角を付け、評価をしています。

17ページを御覧ください。こちらが、評価した対象区間の図です。まだ整備していない都市計画道路について評価を行っており、対象の都市計画道路は、11路線、27区間になっています。

18ページです。それでは、指標ごとに簡単に御説明いたします。指標1、骨格幹線道路網の形成です。評価方法は、広域幹線道路に位置付けられている路線を評価しています。抽出された区間のうち、新設区間を丸、概成区間を三角として評価しております。なお、幅員8m以上の既存道路と重複している区間を概成区間、概成区間以外を新設区間と呼んでいます。下の図の、赤い丸で囲った路線が評価された区間です。評価された対象路線を、右下の表に、一覧で記載しています。次ページ以降も同様のスライド構成となっています。

19ページ、指標2、都市間ネットワークの形成です。評価方法は、隣接市に接続する路線を評価しております。抽出された区間のうち、新設区間を丸、概成区間又は1市に接続する路線の区間を三角として評価しております。

20ページ、指標3、円滑な物流の確保です。評価方法は、広域的な物流拠点へアクセスする重要物流道路に位置付けられている路線を評価しております。国土交通省では、小金井市内の重要物流道路として新小金井街道の一部及び連雀通りの一部を、代替・補完路、に指定しています。本指標については、該当する区間はございません。

21ページ、指標4、交通処理機能の確保です。評価方法は、将来交通量推計により、1日当たり6,000台以上の交通量を確保する路線を評価しています。

次の、指標5、救急医療施設へのアクセス向上です。評価方法は、小金井市都市計画マスタープランにおける拠点である中心拠点、副次拠点、地域拠点、行政・福祉総合拠点の中心から、近隣市にある7か所の救急告示医療施設までの搬送時間の短縮に寄与する路線を評価しています。

23ページ、指標6、交通結節点へのアクセス向上です。こちらは、2つの観点で評価をしています。まず1つ目は、鉄道駅へのアクセスです。評価方法は、市内の鉄道駅の圏域500m以内に未着手区間がある路線を評価しています。

24ページは、インターチェンジへのアクセスについてです。評価方法は、小金井市都市計画マスタープランにおける、拠点の中心から周辺自治体のインターチェンジまでの所要時間の短縮に寄与する未着手路線を評価しております。周辺自治体のインターチェンジは、府中スマートインターチェンジと、調布インターチェンジとしています。

25ページ、指標7、避難場所へのアクセス向上です。評価方法は、広域避難場所、一時避難場所に接続する区間を評価しております。市内には、5か所の広域避難場所と、20か所の一時避難場所が指定されています。

26ページ、指標8、都市環境の保全です。評価方法は、自動車の走行性の向上に寄与する4車線以上の路線を評価しています。

27ページ、指標9、良好な都市空間の創出です。評価方法は、みどりの拠点に接続する区間と、小金井市都市計画マスタープランにおける、みどりのネットワーク、に位置付けられている区間を評価しています。みどりの拠点に接続し、かつ、みどりの軸に位置付けられている区間を丸、みどりの軸に位置付けられている区間を三角としております。

28ページ、指標10、公共交通の導入空間です。評価方法は、未着手区間が公共交通不便地域内にある路線を評価しています。武蔵小金井駅及び東小金井駅の500m圏域、新小金井駅の300m圏域、バス停300m圏域に含まれないエリアを公共交通不便地域と設定しています。

29ページ、指標11、緊急輸送道路の拡充です。評価方法は、緊急輸送道路と重複している区間を評価しています。

30ページ、指標12、延焼遮断帯の形成です。評価方法は、東京都防災都市づくり推進計画において、延焼遮断帯に位置付けられている区間を評価しています。

31ページ、指標13、災害時の代替機能です。評価方法は、災害時に主要生活道路が閉塞した場合に、代替となる主要生活道路がない場所における区間を評価しています。小金井市内においては、国分寺崖線周辺の一部に、土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域が指定されています。

指標14、都市の多彩な魅力の演出・発信です。評価方法は、小金井まち歩きマップに掲載されている、観光拠点へアクセスする区間を評価しています。

指標15、生活空間機能の確保です。評価方法は、バリアフリー計画で位置付けられている主な福祉施設等にアクセスする路線を評価しています。

指標16、生活道路の安全性向上です。評価方法は、スクールゾーン指定エリア内を通過する又は指定エリアの周辺に位置し、都市計画道路の整備により、スクールゾーンへの通過交通の抑制が期待される区間を評価しています。

指標17、都市骨格形成です。評価方法は、小金井市都市計画マスタープランにおける拠点にアクセスする区間を評価しています。

指標18、街区形成機能です。評価方法は、未着手区間が木造住宅密集地域等を通過する区間を評価しています。

指標19、まちづくりへの貢献です。評価方法は、まちづくり計画対象エリア内を通過又は接続する区間を評価しています。

38ページは、御説明しました指標1から指標19で評価した項目について、丸を1点、三角を0.5点として設定して計算した一覧表です。配布しております資料2の12ページと併せて御覧ください。各区間の評価点の合計の高い順から、5位区分ごとに順位を付けて、AからEの区分で分類をしています。Aランクは、評価点の合計が高いことを示しており、必要性が高い区間を示しています。なお、評価のランクや順位は、整備の優先順位を付けているものではなく、相対的な順位です。

39ページは、先程の表を、図に表わしたものです。

40ページは、指標1から指標19で評価した各区間の評価をまとめたものがこちらの表です。

以上が、第四次事業化計画の指標を基にした評価の実施の検証結果になります。

次は、②交通流動面から見た評価の実施について御説明いたします。

42ページを御覧ください。委託では、市独自で将来交通量推計を行っております。国が調査している、平成27年度道路センサスを基に将来交通量推計を実施しました。また、将来交通量推計結果をもとに、混雑度の変化を比較、検証を実施しています。

43ページを御覧ください。こちらが、将来交通量の推計結果です。

次の44ページでは、先程の将来交通量推計結果に基づき、混雑度の変化の比較、検証を実施しました。混雑度が1.0未満であれば混雑をしていない、1.0以上であれば混雑している、としています。

次に、45ページが、都市計画道路全てを整備した場合の各区間の混雑度を算出した結果の

表です。黄色いマーカーの箇所は、混雑度が1を超えた区間を示しています。以上が、交通流動面から見た評価の実施の結果です。

続きまして、③概算事業費の算定について御説明します。市が施行した、過去の都市計画道路事業における事業費等を参考に、各路線の各区間の概算事業費を算定しました。

47ページを御覧ください。概算事業費は、委託費、工事費、用地費、補償費の費用を合算し、算出しております。算出方法は、スライドのとおりです。算出に当たっては、区間延長や道路整備面積等に、単価をかけて算出しておりますが、各路線の地形条件等は考慮しておりません。また、過去の市の事業に基づき算出した概算になっています。今後、市施行の優先的に整備する都市計画道路を選定する際等に、適宜精査はしてまいります。

次にこちらが、概算事業費を算出した結果の一覧です。次のスライド49ページも、同様のものになっています。

続きまして、④都市計画道路の整備優先性の検証について御説明いたします。

51ページは、19指標の評価を点数化したスライド38ページを、ランクAからEまで順番に並べた表に、交通流動面から見た評価、整備上の主な課題、概算事業費を追加した表になっています。これらを総合的に加味し、さらに、次に御説明しますアンケート調査結果と、本日の皆様からの御意見等も踏まえまして、市施行の優先的に整備する都市計画道路の候補路線を選定してまいります。

次に、都市計画道路のアンケート調査の結果について御説明いたします。まず初めに、アンケート調査を行った目的です。アンケート調査は、市民の方々が、現状の市内の道路にどのような問題点を感じているか、また、今後、どのような道路を望んでいるのかを把握しまして、市施行の優先的に整備する都市計画道路の候補路線を選定するための参考とするために、実施しています。調査方法は、無作為に抽出した18歳以上の市民2,000人を対象としまして、回答結果は、有効回答数が781件で、有効回答率は39.1%でした。この場をお借りしまして、アンケート調査に御協力いただきました市民の方々に感謝を申し上げます。

続きまして、アンケート調査の設問の構成です。初めに回答者の属性をお聞きし、続いて、自宅周辺の生活道路について、更に、市内全体の歩行空間、自転車の走行空間、自動車等の走行空間について、最後に、今後の道路整備の重要度や、望ましい進め方についてお聞きする内容になっています。最後に自由意見欄を設けました。本日は、自由意見欄の資料もお配りをしています。

続きまして、56ページからは、アンケート結果について、抜粋して御説明いたします。アンケート調査結果は、ホームページで掲載しており、スライドの最後に、二次元コード、URLを記載しておりますので、後程御紹介いたします。左側は、回答者の年齢構成で、40歳以上の方から多く回答をいただいております。また、右は回答者のお住いです。

57ページは、自宅周辺の生活道路についての結果です。自宅周辺の生活道路の歩行時の安全性の問題点と、自宅周辺の生活道路の安全性についての結果になっています。

58ページでは、大規模災害時における、自宅周辺の生活道路での不安点と、自宅周辺の生活道路の災害時の安全性についての結果です。

次の59ページは、自宅周辺の生活道路の自転車の利用環境の問題点と、生活道路の自転車の利用環境についての結果です。

次の60ページは、自宅周辺の生活道路の自動車等の移動時の問題点と、自動車等の移動時の安全性についての結果です。

次の61ページは、市全体の道路に対する問題点や評価についてもお聞きしています。市内を6分割しまして、安全性等の低い地域を聞いています。右の図は、中央線を境にして北と南に分けまして、さらに、主要な幹線道路の間を分けて、市内が概ね6等分になるように設定しました。こちらでは、歩行時の安全性が低いと感じる市内の地域を聞いており、南中部地域が36.8%、次に北中部地域と南東部地域が約26%となっています。

続きまして、62ページは、自転車で走りにくいと感じる市内の地域を聞いており、南中部地域が46.1%、次に北中部地域が36.4%となっています。

次の63ページは、自動車等で移動する際に、安全性が低い、利用しづらいと感じる市内の地域を聞いており、南中部地域が41.1%、次に北中部地域と南東部地域が約32%となっ

	ています。 続きまして、64ページは、自動車等で移動する際、渋滞している、車の流れが悪いと感じる市内の地域を聞いており、南中部地域が49.3%、次に北中部地域が43.5%となっています。 続きまして、65ページは、今後の道路整備に関する取組について、各項目の重要度を聞いておりまして、生活道路の安全性向上や自転車走行空間の整備が、他の項目に比べて、重要である、やや重要である、という回答が多くなっています。 66ページは、今後の道路整備や、維持管理、その他道路に関する各種取組について、望むことをお聞きしました。重要なものから優先的に整備する、の回答が特に多くなっています。 67ページは、アンケート結果同士を掛け合わせて、分析したものです。これは、回答者の居住地別の傾向を把握するために、回答者の居住地と、自宅周辺の生活道路における5つの項目について、分析しました。5つの項目のうち、4つの項目で、貫井南町に住んでいる回答者の評価が低くなっており、貫井南町に住んでいる方が、自宅周辺の生活道路の評価を低く回答していることが分かります。 68ページは、回答者の居住地と、市全体の道路における5つの項目について、掛け合わせて分析したものです。5つの項目のうち、4つの項目で、貫井南町に住んでいる回答者の評価が低くなっており、貫井南町に住んでいる方は、自宅周辺の生活道路だけではなく、市全体の道路の評価も低く回答していることが分かります。 続きまして、69ページでは、回答者の居住地と、市全体における4つの項目について、安全性や利用環境等が低いと感じる地域について、掛け合わせて分析した結果です。市全体の道路において問題と感じる地域は、どの居住地においても、南中部地域、北中部地域の安全性や利用環境等が低い、との傾向があり、回答者全体の評価と同様の結果となっています。 続きまして、アンケート調査では、自由意見欄を設けました。沢山のご意見をいただいております。自由意見は、スライドにあるとおり、意見ごとに分類して整理しており、複数の意見がある場合は、いずれかの意見として分類しております。なお、本日、追加資料として、皆様のお手元にもお配りしております。 以上が、アンケート調査結果の内容になります。 今後のスケジュールについて御説明をいたします。小金井市独自の取組として、本日御説明しました、都市計画道路の検証結果、アンケート調査結果を実施しました。今後、本日の皆様からの御意見、御要望等を参考に、市施行の優先的に整備する都市計画道路の候補路線を選定してまいります。また、東京都、特別区、26市2町で策定しています、東京における都市計画道路の整備方針（仮称）において、市施行の優先的に整備する都市計画道路を選定してまいります。 最後に、都市計画道路に関するホームページの御案内です。本日説明しました内容が掲載されておりますので、御興味のある方は是非御覧ください。第1部の説明は以上です。
都市整備部長	説明が終わりました。これから質疑応答に入ります。ここでは、第1部の説明についての御意見、御質問をお願いいたします。挙手をされた方から御指名をさせていただきますが、係の者がマイクお持ちいたしますので、お住まいの地域、また、差し支えなければお名前、それから御質問、御意見という順でお願いしたいと存じます。それでは、御意見、御質問のある方は挙手をお願いいたします。
参加者	前原町に住んでます●●●と言います。録音とか録画とか大丈夫ですのでお願いします。2つ質問があるんですけど、第一はアンケートに対してなんですが、今回の説明会は、このまあと主に2路線を推進するか中止にするかっていう大きなテーマだと思うんですけど、このアンケートについては、推進すべきだっていうのと中止すべきだっていうのとの割合はどれくらいだったのでしょうか。まず1つ目の質問どうですか。
都市計画課長	アンケートについて御質問頂戴しました。今回のアンケートの趣旨でございますけれども、いま課題になっておりますその2路線についてアンケートを行ったものではございません。あ

	くまでも次の優先整備路線、市施行の優先整備路線を選定したいために様々な課題をですね市域全体の課題をアンケートをとりまして、それで、次の市施行の優先整備路線の選定に役立たいという趣旨でございます。ただそのアンケートの結果を見ますと、2路線についてのご意見も頂戴しているということです。今日本日お配りしております資料の中にもその旨載っております。
参加者	ではそのアンケートにとっては中止と推進っていうのは数字的なデータをとってないっていうことですね。で、昨日東小で説明会があったんです。で、この最新の説明を聞いた中で、どなたかが推進する人、中止の方がいいんじゃないかっていう人っていうのとその挙手でデータをとったんです。その結果は、昨日は117人くらい来てるんですね、その中で、賛成っていうのが1、反対が115かな6かなそのくらいだったんですよ、最新の資料を説明してもらって、なおかつ、反対が99.99%以上ということは、この説明に対して説明を聞いた市民は99%以上が中止を求めているという結果だったと捉えていいんですか。
都市計画課長	御質問を頂戴いたしました。本日昨日もそうですが説明会ですね、賛否を問うためにお集まりをいただいた説明会ではない、いうふうに思っております、確かに昨日そのような御質問がありそのような結果になった、というふうに承知をしておりますが、その数値をもってそれが市民全体の意向だ、というふうにはすぐには捉えられないかなというふうに思っております。今回のアンケートはお示ししておりますアンケートは無作為抽出で市全体、市民全体にかけておりますのでこれは賛成反対関係なく、一定の市民の意向がデータとして集められたかなというふうに思っています。そういった意味では今回結果としてお出ししているものは、一定の妥当性があるというふうに思っております。
参加者	定性的な話じゃなくて定量的な話なんです。で、定量的では昨日の99%は定量的。ただ、昨日の話が信用できない正しくないっていう場合には、この資料5の8ページ6ページにちょっと古いんですけど平成28年3月のパブリックコメントの結果がのってる。推進する人は70件、廃止見直しが2041件、これも90%以上なんです。で、賛成するか反対するかの定量的な数字の現状は古いけど、新しいのがないんだから、96%が市民が反対してるっていうふうな認識で市はあってますか。
都市計画課長	賛成反対の割合についての認識、御質問頂戴いたしました。賛成反対の割合っていうのは中々難しいと思っております、昨日とか今日のようなその特定の会合ですとかパブコメの結果というのは、これは投票ではございませんので、厳密な投票とは異なると考えておりますのでこの数字をもって直ちに市民全体の意向がそのような割合かな、ということ中々難しいかなというふうに思っております。そういう点でいきますと、今回のアンケート結果はあくまでも無作為抽出の市民の方々に御回答頂戴しておりますので、今回のアンケート結果はそういった点で一定の妥当性があるかというふうに思っています。
都市計画部長	すみません。そろそろ、よろしいですか。 (会場からの声あり)
都市整備部長	こちらで、ちょっと御指名をさせていただきます。 (会場からの声あり)
都市整備部長	マイクの方は、それでは。
参加者	ここから100mぐらい、ところですね、前原町●●●と申します。動画も、全部オープンです。あのアンケートに2,000人が呼ばれた、私も行ったんです。いいものを作るんじゃ

	ないかと、市長さんもね反省してね、いいものをね、集約するじゃないかなと思っていたんですが。 (会場からの声あり)
参加者	それじゃない。 (会場からの声あり)
参加者	違いますか。それとは違う。 (会場からの声あり)
参加者	そうですか。私が勘違いしたのかもしれませんが。 (会場からの声あり)
都市整備部長	はい、では関連で。
参加者	今このアンケート結果について、昨日も言ったんですけども、普通はですねこのアンケート結果の内容について、それに結果に基づいて検証を行う。こういうのが普通なんですけども、アンケートの内容をよく読んで見ると、それが全く反映されてないと思うんですよ。というのはですね、アンケートの内容は、要するに、例えば、交通がなかったら、自転車と折衝が悪いとか、バギーを押して通りにくいとか、自動車の折衝が悪い、これがね一番問題になってると、こういうふう思うんですよ。それがですね、何で新規道路につながるのかって、全く理解できないんですよ。昨日も、そういうのはありませんでした。逆にですね、私が一番知りたかった昨日も言ったんですけども。小金井市内で渋滞がどのくらいあるかっていうアンケートもここに書いてあるわけですよ。今日の説明には無視されました。どの地域が渋滞されてるかというような、さも小金井市が渋滞してるような表しか載せないんですけども、先程言った、いつだったっけ、5の8だったかな。中にはですね。小金井市の中で、やや渋滞してる、ほんの少し渋滞してる、これが30数%。その下がどちらでもない、分からない、渋滞してないが、20何%かな。9割以上の方が、大して渋滞してないっていう結論が出てるわけですよ。渋滞してるってのはたかが8%。たかが8%ですよ。小金井市民の、このアンケートの中の2,000人の大部分が大して渋滞してないと。何で新規道路を作るといって検証結果なのか全く理解できません。何ですか。そういうのが全く反映されてないじゃないですか。昨日ですね。 (会場からの声あり)
参加者	だからそれ今から聞くんです。黙ってください。 (会場からの声あり)
参加者	だから今から。黙ってください。これについては、市長に聞きます。昨日聞きましたら、この検証結果については、あんまりレクチャーは受けてないというふうに聞きました。この渋滞では、9割以上の方が渋滞してないっていう結論が出てるについて、市長は御存知だったろうがこれを一つ、後で、後でいいですから、知りたい。本当に渋滞してるっていうことであれば、どこがどのくらいのあれで、渋滞してるか、明確にしてください。それを明確にするってのは、当然のことながらですよ。市長は御存知だと思いますけれども道路建設にする1つの目安として、混雑率が1.25%以上の箇所です。これがどこにあるのか教えてください。次、市長が答えてくださいねこれは。市長が判断してるから市長が。次にですね。昨日初めてですね、何

	でしたっけ公約を違反した理由をさらっとおっしゃいました。市民の安心安全のために、公約を、反故にしたと。こうおっしゃってんですけども。題目はいいんですけど、具体的にどういうことなのか、全く理解できないんですよ。それを教えてもらいたいです。具体的に聞くのはですね。具体的にやる、例えば、この今回の11号線3・4・11ができた場合、市民の安心安全にどういうふうに利するのかを具体的に教えていただきたい。先程ですね、自転車とかバギーについては、あそこに陸橋が出てきてもですね、具体的に利用する人は少ないと思います。他の場所に影響することもないと思いますんで、そこ市民が一番心配になってるところの、には全く繋がらないと思います。他にどういふのがあるのか教えてもらいたい。ここにですね、色々、色々ですね。交通処理機能(5)とか色々書いてありますけども、渋滞前提であればそうかもしれないんだけど、渋滞がしないというふうに、大部分の方は思ってるわけですよ。それでね、物流の確保だとかですね、交通性のアクセス向上とかね色々書いたって全然こちら説得性全くないんですよ。皆さんそう思いませんか。次にですね、避難場所へのアクセス向上、こう書いてありますけども。今回の、あの3・4・11ができた場合、交通場所へのアクセス向上。 (会場からの声あり)
参加者	これどういうふうに、プラスになるのか教えてもらいたい。
都市整備部長	発言者以外の方、お静かにお願いします。
参加者	まさかですね、災害が起こった時にですね、車で移動するなんてこと全く考えてないでしょ。どのような形でプラスになるんですか地元住民、公園に車なんか使えるわけじゃないですよ。都市環境の保全、あと何良好な空間、何か色々書いてありますね。よく全く分からない。緊急輸送道路拡充。
	(会場からの声あり)
参加者	私。
都市整備部長	はい。
参加者	全てそういうことを含めて、市長が、安心安全のためにあの道路ができた場合、この後ですよ、どういうプラスなるのか説明してください。以上。
都市整備部長	すみません。これから、御回答差し上げますが第1部での、御質問をお考えの方、あとどのぐらいいらっしゃいますでしょうか。はい。
市長	すみません。簡潔に答弁、答弁といいますかお答えをさせていただきます。まず大変申し訳ありません2路線の件につきましては、あと第2部で・・・。
	(会場からの声あり)
市長	・・・として、やらさせていただきますので、ちょっとまずそれ以外の、この第1部につきましては、今後、市で、市施行路線として、改めて位置付けて整備すべきものがどれなのかということを選定するための説明をさせていただいて、今質疑をさせていただきますので、その観点で、例えば渋滞に関して、御質問がございました。渋滞してると感じるのは8%しか過ぎないというお話でしたが、逆にいうと、やや渋滞していると感じるっていう方も含めると約42%で、渋滞してないと感じる方は3.6%。あんまり渋滞しないと感じる方も含めると、そう感じていらっしゃらないのは30%弱ということで、それだけをもってね、どうかっ

参加者	うことではありませんが、どちらかというと、ややを含めると、何となく渋滞してる感じるな ってという方が、どちらかというと多いっていうふうにも捉えられると私は思ってます。資料の 方でもお示しをしてます第1部の資料の64ページの方に、渋滞を感じる市内の地域につい て、南中部地域が約5割ですね、あと北中部地域が43%44%程度、特に渋滞をしてるんじ ゃないかと感じる方が多いっていうのはこのアンケートの結果で出てるところでございます。 以上です。 質問に答えてないんですけどね。1.25%以上混雑してるところがどこにありますか小金 井で。これね、重要な問題なんです。道路建設、そういう基準満たしてないところに道路を つくろうと、こういうことを強行しようとしてるんですよ。どこが国が定める1.25%以上 になってるのか、その説明がありません。我々はですね、地権者で下手すると土地を取られる んですよ。自然を壊すような計画なんです。そんなね甘っちょろいところでね、やや、ややが ね渋滞してるかもしれないなんていうことで納得できると思いますか。基準立てて場所を教え てください。 (会場からの声あり)
参加者	課長じゃない。市長がお答えください。課長はいい。 (会場からの声あり)
都市計画課長	検証の技術的な内容でございますので。
参加者	違うよ、違います。
都市計画課長	私からお答えさせていただきます。
参加者	違います。違います。
都市計画課長	今回のそういったあの・・・中では・・・。 (会場からの声あり)
参加者	違います。
都市計画課長	・・・その検証はやっておりません。
参加者	ごめんなさい、課長の言う事は聞きません。
都市計画課長	・・・ということでございます。
参加者	今日は、市長がああゆう方針を出したから、こういう説明会を開いてるわけですよ。だから 市長がどのくらいの認識で聞いたかそれを聞きたいわけですよ。そういう説明の場でしょ。課 長じゃなくて市長の言葉が聞きたいわけですよ。市長の意見、考え方、認識を聞きたいわけ ですよ。そうじゃありませんか、皆さん。 (会場からの声あり)
参加者	答えられないの分かんないの知らないんですか。答えられずに知らない。それで何こんな計 画道路決めたんですか。とんでもないことでしょう。課長は言わなくていいと言ってる。

都市計画課長	繰り返して説明いたしますけど。
参加者	課長はいい。課長はいいって言ってんでしょう。課長はいいの。市長の意見を聞きたいわけよ。
都市整備部長	まず担当から。申し訳ございませんが。
参加者	担当じゃ駄目。昨日から言ってるようにね。市長の意見を聞きたい場なんですよ。ここは、違いますか。
	(会場からの声あり)
参加者	そういうのも含めて決めたんでしょう、市長が判断したわけでしょ。知らないで判断したなんて言わせませんよ。とんでないことでしょう。そう思いませんか、皆さん。
	(会場からの声あり)
参加者	何で答えないんですか。
	(会場からの声あり)
都市整備部長	はい。
参加者	市長、何で。
都市整備部長	申し訳ございません。
参加者	市長答えてください。分かんないんですか。答えられないんですか。
市長	大変申し訳ありませんが、誤ったことはちょっとお答えできないので、今私の方で、その技術的なことを含めて正確にお答えすることはできません。
参加者	それで判断されたということと解釈していいわけですね。中途半端な交通量も知らないで、公約を途絶えるそういうことでよろしいですね。そういうことでよろしいですね。
都市整備部長	もう一度確認しますから。
参加者	課長いい。課長はいい。
都市計画課長	本日は説明会の趣旨を改めて私から御説明をさせていただきます。
参加者	いい、いいです。それやめてくれよ。だんだん、紛糾しますけど、紛糾するよ。
	(会場からの声あり)
参加者	紛糾するよ。昨日と同じに。あなたの意見を言っとく場じゃないの。
都市計画課長	意見ではなく今回のですね、説明会の趣旨を改めて御説明させていただきますけれども、我々今回の検証とアンケートを使いまして、次の市施行路線の候補を選定したい、というふう

	に考えております。そのために実施いたしました検証とアンケートの結果を御説明する場でございますので、この結果をもって、何かを判断したとか、そういうことではございません。
参加者	じゃあ何、あのアンケートは、あれは無視するってことですか。
都市計画課長	第1部につきましては。
参加者	無視するってことですか。
都市計画課長	そのような内容でございまして、当該の2路線については、また第2部で御案内をさせていただきます。よろしくお願いいたします。
参加者	何答えられないってことですね。
都市整備部長	それでは第1部、御質問の方は。
参加者	何で。何で。
都市整備部長	挙手をお願い。 (会場からの声あり)
参加者	何でだよ、皆さん聞きたいだろ。じゃあ、繰り返しますけども、市長は1.25%混雑の知らないで、決めたということで理解してよろしいですね。
都市整備部長	後程、市長の方から回答等ございますけれども第2部の内容もございますので、ここでは第1部ということで、それでは一番奥の。
参加者	ありがとうございます。録音、録画していただいて大丈夫です。ちょっと昨日の東小よりも熱いなあと思っていて、皆さん、水分をしっかりと取っていただきたいと思います。追加資料、昨日お願いしたとおり、付けていただいてありがとうございます。第1部の方の質問をしたと思います。今回の説明、前提条件としてなんですが、昨日明らかになったことですが、今日説明されている、この資料の基となっている報告書っていうのが、市議会の方に報告されていなかったということが昨日判明しまして、市議会の方に全く、すごく簡単にホームページに載っております、の一言だけで委員の人たちが読んでいなかったということが昨日分かりました。その前提で、この市民に説明されているということ自体は、私は非常に納得しております。なので、今回ほんとはこの説明会自体今日も成立しないというふうに私は思っています。ただ、だからといってここで質問しないわけにはいかないので、中身について質問させていただきます。市の上位計画である第5次小金井基本構想の中には「いかそうみどり増やそう笑顔つなごう人の輪」小金井市というのが一番最初のタイトルになっております。しかしながら、この後の、ページ16の都市計画道路の評価指標の中には、緑のみの字もない。これは一体どういうことなんでしょうか。こういうことで本当にこの道路計画決められるのかなっていうのが非常に疑問です。指標9の中に、良好な都市空間の創出のところで、緑の拠点に接続するということで道路を評価していますが、緑を破壊するとか、そういう項目があるべきではないでしょうか。市民向けのアンケートも同様に、緑や自然に対する項目がないので、お答えする方々はとても苦勞されたんだと思います。こういう項目を答えていけば、道路は作ったほうがいいのかという結論に達するのは当然なんです。道路っていうのは、あれば便利。あったらいいなっていうのは、確かにそうなので。でもそれによって、家が破壊されるとか、緑が失われるとか、ものすごいお金がかかるとか、そういうことはこのアンケートの中には何もないんですね。で、先程から、今後、新たに整備する市施行の道路って簡単に言ってますけど、誰の家

	が立ち退くんですかこれによって。ここで簡単にふーんと思って聞いてたら、自分の家かもしれないんです。そういうことが、ここで簡単に今説明されていて、これがいつの間にかどんどん進んでいくと、ああ、私の家だったっていうことになるんです。これを私たちは何十年も前に見逃したがために、3・4・11号線、3・4・1号線が東京都によって整備することになったんです。だから今日のこの場を、私たちスルーするわけにはいかないんです。その上で質問です。3・4・11号線を作るということになると、必ず次は五日市街道の拡幅という話になると思います。この資料を見てもやっぱり五日市街道はとても重要な路線だからです。五日市街道は小金井桜があって、玉川上水があって、とても小金井市にとって大事な場所です。この五日市街道の拡幅が、どういう形で拡幅になるのかが私には分からないので、南側北側どんなふうに拡幅して、小金井桜に五日市、玉川上水にどんな影響があるのか、是非教えてください。よろしくお願いします。
都市計画課長	私からお答えをさせていただきます。大きく2点、御質問を頂戴したと思っております。まず1点目が、緑、環境を守るっていう観点がいないのではないかとという点でございます。これにつきましてはおっしゃるとおりですね、緑ですとか環境の観点が入って、一部入っておりますが、そういった実現性という観点は入ってございません。これを、今回の検証の考え方でございますけれども、あくまでも必要性を主に検証しております、そういった点で、都市計画道路の機能ですとか役割ですとか、そういった観点で必要性を加点していった、その点数の結果、順位付けをしてるというものでございます。今後、具体的に選定するに当たっては、今おっしゃられたような、緑はどうか、あと、費用の面はどうか、そういった現実的な実現性の観点も踏まえて、選定をしなきゃいけないというふうに思っております。ですので、我々としても当然その緑を大切にしていきたいという考え方を持っておりますけれども、今回の検証につきましては、そういった機能や役割を都市計画マスタープランですとか、第四次事業化計画で行いました検証の報告を基に検証したということでございます。続きまして、五日市街道の拡幅でございます。これ五日市街道は御承知の方もいらっしゃるかもしれませんが、45mから49mの、幅員の大きな幅員の都市計画道路となっております。これが実際どういう設計になるのかということはまだこれからなんですけれども、小金井の五日市街道のさらに東の方に行きますと、玉川上水を跨いで、玉川上水を守る形で実現されているところもございます。そういったことで、幅員がですね、東八道路30mというよりもさらに大幅に広い45mから49mになっているのかなというふうに想像はしますが、まだ設計が、実現が全然見えてませんので、設計の詳細までこの場でお答えするのは難しいなというふうに思っております。以上です。
都市整備部長	次に、大変申し訳ございません。本日もし、あと、昨日ですね、まだ第1部でご発言されていない方、はい。一番前の。
参加者	マイクありがとうございます。撮影、録音OKです。皆さん市内の方が多いかと思うのですが、私は市外に住んでいます、●●●と申します。私はですね大学2年生で政治経済学部通っております、そちらのほうで統計学の方を学んでいるところです。統計学的な視点の方から、今回の資料の方について御説明を求めたいと思います。まず1つ目ですね。よろしくお願いいたします。38ページ御覧ください。38ページの方ですね、私も、ものすごいまだまだ統計学がものすごいできるわけではないんですけれども、このA、Bみたいな相対的ものだからっていう話があったと思うのですけれども、この例えばAとBの間に、どのぐらいの、そのなんというんですかね統計的な優位があるのかとか、ここにどの程度科学的な優位差があるのか、例えばあれですね。一番Aのなかで低いものが8.0だと思うんですけれども、それとBの一番上位が7.5。この間にどういった違いがあるのかですね、まずこういうその評価点の付け方がどういった、科学的な根拠に基づいているのか知りたい。続きまして、またそれに基づいた順位を作るっていう、順位って点数にしてその点数なり、そのこういわゆる要は数値化してそこに統計的な優位がない限り順位っていうものを付けることって恐らくどこまで意味があるのか、結構疑わしいところがあると思います。そして、都市計画道路の45ページの方で

	すね、混雑度の話があると思うんですけども。これ混雑度の指標、もう少しちょっとごめんなさい学術的な話ではないんですけども、混雑度も分かりやすくできませんかね。具体的な、こう想像が誰が見ても想像しやすいような、この地域に時間当たりどのぐらい人が通ってるよ、そういう車が通ってるよみたいな、そういう分かりやすいものを提示していただければと思います。続きましてアンケートの方です。アンケートの方なんですけれども、円グラフを多用していると多用していると思います。アンケートにおいて、円グラフ、分かりやすいちゃ分かりやすいんですけど。円グラフってどうしても人間の目って、面積とかってというのは分からないんですよ、例えば分かりにくいところが、やっぱりあって例えばこのやや安全性は高いと感じるどちらとも言えない。分からない。57ページの方ですね、これ、小さく下に数字が書いてあると思います。25.4%と22.4%。こういう円グラフってやっぱりこう、なんていうんですか人間視覚的にこう角度とかって、すごい認知が難しいので、棒グラフとかにするとかもう少し、なんていうんですかねなんていうか、ちゃんとしたものを作って欲しいなとか、視覚的にちゃんと差が分かるものにして欲しいというのと、あとちょっとこの、何か質問なんですけど、先程からこの部分は安全性が特に低いと感じて、特に、うんちゃらだ特にこうだこの地域の方は特にこうであるみたいなお話が多いと思うんですけど。そちらの方で、統計的な検定って行っていますでしょうか。例えば95%信頼区間の中で、この割合。この数値とこの数値の間に明確に統計的な優位があるみたいなのそのま自分もその今すぐ計算はできないのでちょっとこう、帰ってみてデータとかちょっと。色々この資料にもあるので、それを調べて、Excelでもなんでもかけてちょっと、色々いじってみたいと思うんですけども、なんかまずそのエクセルのCSVファイルすら上がってないじゃないですか、このPDFの資料だけで。あのとにかくこうやっぱりこう市民のみんなでこういう資料をどういう意味があるのか、どういうこのアンケート結果どういうものなのかどう意味を示しているのか、っていうのをちゃんと探るためにも、ただ結果がこうでしたと公表するだけではなく元のCSVのそのExcelとかで使えるようなもののファイルを、まず、市側としては是非公開をお願いしたいと思います。以上です。
都市計画課長	はい、調査結果について、幾つか御質問を頂戴しました。まず1点目でございます。相対的な優位差ということで、AとBの区別の違いという点について御質問を頂戴しました。我々としてはですね、まずは分かりやすく示したいということがございまして、5位区分ごとにという単純な考え方で区分けをしております。それをさらに、ABCという区分、あと色分けをするということで分かりやすさを優先して5位区分ごとにやっていくということでございます。続きまして、統計的な順位、混雑度、分かりやすいもの、というものは、確かにおっしゃるとおりかなというふうに思っておりまして、この数字を並べられただけでは実感としてどの程度なのか分かりづらいということはそのとおりかなというふうに思っております。この数字が実感として、具体的にどういう交通量になるのかという分かりやすい表現ができるのであれば、今後、そういう点は工夫して参りたい。いうふうに思います。続きまして、円グラフでございます。これは棒グラフ等の方が分かりやすいのではというような御提案を頂戴しております。我々としては、その配分としてですね視覚的に分かりやすいのが円グラフかなというところで、まずは円グラフを採用させていただきました。優位みたいな、学術的な統計の部分というよりも、まず視覚的に市民の皆様に分かりやすくお伝えするということも大切な、というふうに思っております。そういったことで今回はこのような表現にさせていただいたということでございます。以上です。
都市整備部長	はい。次の方。一番、はい。
参加者	はい。御説明ありがとうございます。説明いただいたんですけども、ちっとも分からないし、まずアンケート、私のところきてないんですよ。どういう人にやったのかっていうことと、あとこのアンケートを見て、ぼんやりしてて、何をちゃんと言ってるのか分からない、っていうところがあります。アンケートを見て、これ、アンケートに回答しなかった人がどういう感想を持って、どういう意見を持ってるのかということは、これ以降の事業では予定されている

	のでしょうか、いないのでしょうか。そこを伺いたいと思います。もしやるとしたら、この道路をすることによってどういうメリットがあって、どういうデメリットがあって、予算がこれで、時期がどうでっていうことを明示して、全戸配布で、あと、パブリックで色んな方から意見をもらえて、インターネットでも回答ができるような形、現在にある状況とマッチしたような形で分かりやすく、はっきりしたものとこと、結果を基準で示していただいてもう一度説明とかご検討いただければと思います。そのアンケートに回答できなかった人たちはどういうふうに意見を反映したらいいのでしょうか、お願いします。
都市計画課長	何点か御質問を頂戴しました。まずアンケートの方法でございます。今回無作為で2,000人にアンケートをしておりますけれども、この抽出の仕方は、年齢階層別にしかも町丁目ごとに、2,000人を配布いたしまして、アンケートを送付しております。中々分かりづらいアンケート結果だということでございますけれども、あと、そのアンケートが届いてない人たちの声をどう拾っていくのかということでございます。これは中々難しいというふうに思っております、なるべく市民全体ですね声を、なるべく統計的に市民全体の声として、アンケートの結果に表現させるということで、2,000人という規模のアンケートをさせていただきました。一応この規模であれば、その結果はですね市民全体の意向を一定程度反映できているという考え方に基いております。中々市民全員にですね、アンケートお答えいただくのは難しいというふうに思っておりますので、限定的ではございますが、市民全体の意向を大体反映できるであろうという2,000人の規模でさせていただいたということでございます。
都市整備部長	はい。次の方。
参加者	私も質問簡単な確認です、あの評価、検証されたのは、この丸、三角そういう部分は、民意といいますか市民の意向が全く入ってませんね。そちらで事務方でつけたんですね。要するにね、アンケートで、市民の意見を聞いているのと、事務方いわゆるに市の方でつけた評価、検証結果が一緒になっているから、検証結果の方にも市民の意見が入ってるとはではないかというふうにほとんど方が誤解してると思っています。丸三角には全く我々の意思が入ってないです。そこで、それには不満があるんですよ。どうやったらね、この丸三角を変えることができるのか、市民の意向でね。それってアンケートがやっぱり力を持つてののかなという気がするんですよ。それで、どうやってね、このアンケートの結果をどう丸、三角と融合させていくのかというのを、知らせてくださいます、まず、1部では、私の質問は終わらせていただきます。
都市計画課長	私からお答えさせていただきます。第1部の検証の結果とアンケートについての御質問を頂戴しました。これ市民の意向が入っていないのではないか、検証の中に入っていないのではないかとことですけれども。これはまず1つ、市がつけた評価ではなくてですね、これ委託をしておりますので、コンサルタントがつけた評価でございますけれども、その根拠というのは全て先程御説明したとおり、どうしてそこに丸がつくのか三角がつくのかというのは御説明をしております、きちんと根拠を示しながら評価をしております。丸、三角の評価は載っているというふうに思っております、ここの部分はですね、市の方針ですとか、まちづくりの課題みたいなものを解消するために、どの程度その道路が貢献するのかという役割や機能に着目した評価でございますので、ここに市民の皆様の作りたい作りたくないという意向は入ってございません。ただ、そのアンケートの方で、アンケート調査では、皆様の道路を使いになる上での課題みたいなものを、抽出させていただいたと、そういう考え方でございます。
都市整備部長	はい。続きまして。 (会場からの声あり)
都市計画課長	この結果を使ってどのように設定していくのかという御質問でございます。これにつきましては、今回のアンケートと評価はあくまでもその選定していく材料の1つでございます、先

	程申し上げましたように、環境ですとかあとどのぐらいの費用がかかるのかみたいな実現性ですとかですね、市にとっての価値感みたいなものを踏まえて、具体的に選定することになって参ります。
都市整備部長	はい。それでは次の方、こちらの列の。
参加者	写真大丈夫です。今前半の部分を市ではなく他に出した。なのであれば、その方の説明は絶対必要じゃないですか。どういう基準でこういう形になったのかを丁寧に説明していただきたいんですけど。だって今、全く説明がないでしょう。何か勝手にこの路線が必要だみたいな上がってますけど。何で必要なのか、どういう基準でこういうふうになったのか全く説明がない。単純に納得できません。この基準を作った方にちゃんと説明していただきたい。それをまずやっていただきたいと思います。
都市計画課長	御質問を頂戴しました。まずアンケートを作ったのは誰かということですがけれども、基準を作ったのは誰かという御質問でございました。失礼しました。その基準ですがけれども、先程もちょっと御説明したつもりでしたが、第四次事業化計画の時の、必要性を検証する項目がございました。これが15項目ございました。これは基本的に、それを踏まえて、今回の基準を作っております。さらにですね、今回はコンサルタントに委託をしておりますので、そのコンサルタントの知見も生かしまして、さらに4項目を加えたということでございます。その結果でございましてけれども、その結果については先程御説明したとおり、19項目につきまして、それぞれ根拠がございまして、それは御確認をいただきたいというふうに思います。以上です。
都市整備部長	次の、申し訳ございません。初めて今日質問される方はいらっしゃいますか。こちらの女性の、はい。
参加者	中町の●●●です。録音、録画していただいて結構です。せっかく市民説明会っていう時間をとってやってるのに、全然、意味が分からない。資料自体、丸とか、三角とか小さすぎて、これじゃあね老眼鏡とか眼鏡かけても見えない人もいるんじゃないか。あと説明とかもざっとした説明だけで、何の説明をしてるのかそれを読んでもただなので、全然何を言いたいのかよく分からないんですよ。これで市民説明会、あの市民全員に分かってもらおうとしてるのかなっていう。知識がない人とかもいて道路が良いのか悪いのかも分からない人っていう方たちもいっぱいいる中で、この説明では、何を言いたいのか全然分からないんですよ。もう1つですね。道路計画の検証結果があるんですけど、将来交通量推計を行い、ていうところなんですけれども。交通量の変化、混雑度の変化を比較検証を実施って書いてあるんですけど、整備した場合のは、43、45ページなのかな。整備した場合っていうのは書いてあるんですけど、整備しない場合の検証結果が書いてないような気がするんですけど。これだと比較にならないし、検証結果にもならないんじゃないかなと思うんですけど、いかがでしょうか。お願いします。
都市整備部長	少しお待ちください。
市長	先にちょっと私の方から、お答えをします。この説明会が何を言ってるか分からない、意味が分からないっていうようなご相談もございました。分かりづらくて大変申しわけない点はございます。繰り返し申し上げますが、この説明会自体、まず、この第1部につきましては、まだ未施行の未整備の、今後、市として市施行路線として整備していく道路がどれなのかということ、今後、選定するための材料として、まず、コンサルに委託をし、状況を調査していただいたということと、アンケート調査で、全体の市全体の道路の状況について、市の皆さんがどう感じているかということ調査しました。ていうことをまず今御報告させていただいている段階でございます。で、この説明会も含めてですね、今後、どういうふうに変定していくかっていうことは、先程課長の方で説明したとおりです。ちなみにこういった作業はですね、1

	0年前東京都の方で第四次事業化計画を定める際にですね、市としても、こういう調査も市民の皆さんにお示ししながら選定するっていうことも、一切やってなかったんです。その反省も踏まえて、今回につきましては、こういう調査も含めて、その途中経過も、市民の皆さんにお示ししながら選定していくという作業の途中を今説明してるということでございます。分かりづらくて申し訳ございません。 (会場からの声あり)
都市計画課長	続きまして検証の内容について、私から御説明させていただきます。整備した場合と整備しない場合の表現の仕方が違うというところですけども、整備したらこういうふうになるよというようなことで、検証の結果として表現をしております、整備しなかった場合というのは、検証はしていないというところでございます。以上です。
都市整備部長	それでは続きまして、まだ質問されていらっしゃる。 (会場からの声あり)
参加者	整備しない場合の検証しないっていうのだと、この検証結果は全く意味がないと思うんですけど。整備しない場合でも、この渋滞率1.0未満を渋滞率混雑度1.0未満を達成できるのであれば、整備をする必要がないんじゃないかと思います。なので整備しない場合の検証をしないと、この検証っていうのは全く意味がないと思います。ちょっとそれでは説明が足りないんじゃないかなと。市側に都合のいい数字だけ並べてんじゃないかって思われてもしょうがないんじゃないかなっていう。道路を整備する必要があるのか、必要もないのかというのも市側として示していただきたいとか、どういう整備した場合しない場合どういう影響とか混雑の解消とか自然の影響とか、そういう総合的な判断を示していただかないとちょっと納得できる市民はいないんだろうなと思いますけど。
都市計画課長	将来交通量の推計の渋滞の結果について御質問を頂戴しました。今回の検証の考え方ですけども、まず、全ての都市計画道路を整備した場合ですね、整備すれば当然交通量は分散いたしますので、各路線の交通量は減るはずで。様々なルートが選択されますので、各路線の交通量は減ると負担は減るという考え方の基に、全ての都市計画道路がもしできた場合、それでもまださらに渋滞している箇所があるのであれば、それはやはり問題であろうという考え方でございます。ですので、今回なぜ全ての都市計画道路が整備したうえでシミュレーションしてるのかということは、こういった問題点の抽出をしたいという考え方に基づいて、作業したということでございます。以上です。
事務局	すみません。もう1点補足をさせていただきます。今回交通流動面に関するところについては、さらに1区間作らない場合にどういった影響があるか。そういったことについては今回の検証でしておりまして、交通流動面の評価ということで、その混雑度に影響を与える路線というについては、評価をするという形で一部加味しておりますのでそういった点についても踏まえて、今後、路線の選定をしていきたいと考えております。
都市整備部長	それではまだ本日御質問されてない1部でされてない方。それと第2部開始の時間がだいぶ過ぎてしましまして、第2部から御出席の方もいらっしゃると思いますので、第2部のほうも、延長しながら、ご質問を受けたいと思っておりますので、御理解いただきまして、御質問されてない方、お願いしまして、あと。 (会場からの声あり)
都市整備部長	それで本日、質疑応答等で、最後、できなかったものに関しましては意見・質問用紙で、御

	記入いただきまして、お願いをしたいというふうに思っております。 (会場からの声あり)
都市整備部長	時間として御理解いただけないかもしれませんが、昨日お時間を延長して御対応させていただいているので、どうぞ御理解をいただきたいというふうに思っております。 (会場からの声あり)
市長	申し訳ありません。もし、紙に書いて、提出するっていうことで御了承いただける方はできれば紙に書いていただきたいので、当然ですね、まだ直接質問して、直接聞きたいという方が多分多くいらっしゃると思います。私としてもできる限り対応したいとは思ってます。ただちょっと、本当に、既にもう時間がかかなりオーバーしておりますが、もし可能であれば、本当にその1部、のことについての質問をされたい方は、もうちょっと引き続きちょっとやっていただいて、できればその2部に掛かると考えられる部分についてはちょっと2部の方でしていただければ、またちょっとそこは2部で併せて、やらしていただければと思うんですけども。1部の部分でちょっと質問、どうしてもっていう方はいらっしゃるかな。はい。もうしばらくちょっと。はい。
都市整備部長	いやまだされてない。先に。
参加者	中町の●●●と申します。録音結構です。私聞きたいのは、あの人口推計を見たんですけど、2030年で飽和してそれから下がる一方というのが人口の推計なわけです。それで交通量もそれと同様に上がって下がるんじゃないかと思いますが、この統計的な混雑度とかなんとか2000何年のことを想定されて、出されてますか、ということが1つ。
都市計画課長	はい。何年のデータかという御質問でございます。これは令和22年のデータでございます。
参加者	過去15年前のデータってことですか。これから道路を作るんですよ。だから人口が下がるんだから、交通量も上がって下がるっていうのが普通で、それはもう都が何か計画する時に交通量の推計はしてるでしょ。今年度中にはまた次の計画出すんだから。だからそんな過去のデータを出して予測していいんですか。っていう質問。 (会場からの声あり)
都市計画課長	令和22年の。 (会場からの声あり)
都市計画課長	2040年のデータでございます。あの推計でございます。
都市整備部長	それでは次の方。1234列目御2人、続けてお願いします。はい。
参加者	前原町の●●●です。もう1つね、肝心なのは、19の指標がコンサルと相談して決めたというふうにおっしゃいますけど、これってね、市民のためにやるんですよね。市民のために、小金井市はあるんですよね。まちづくりも、まちの骨格とか災害時の代替うんぬんかんぬん。それが全部市民が、安心安全という皆さんのお好きなキャッチフレーズのもとに、どうしたらいいかっていうことで、アンケートをとったと。先程もおっしゃったように、人口は減るんですよ。はっきり言って私運転免許を持ってないから、車乗れないんですよ。運転できないんですよ。そして、今いる子供たちも、18歳までが運転できないんですよ。誰かに乗っけてもら

	う。高齢者はもう返納しちゃってるから、車運転できないんですよ。だから、もうモータリゼーションっていうか、車中心のね、道路のことは、ちょっとまた別の次元であるかもしれませんが、小金井市で今大問題って言えば、本当に自分の・・・そのこととどうやって、年寄りはおそこの公民館まで行こうとか、それでほらＣｏＣｏバスどうなっちゃうのみたいなそういうことが喫緊の問題なんです。移動の自由が奪われてる、基本的人権が脅かされている時に、これは何ですか。小金井市が、本当にやらなきゃいけないことは、コンサルに投げてなんちゃらんかんじゃなくてね、ちょっと先程統計的にもどうなのか含めて色んな問題があるようなことを、ウン千万も使ってやることじゃないっていうふうに私は思ってます。いいですか。もう一回モータリゼーションを含めて小金井市はどういうまちを作ろうとしてるんですか。分かります。市民の。これからもう、年寄りが死んでって、そして、人口が減って、そういうところで、膨大な交付金を使って、市の道路をただ流量と道路の車のね、交通量うんぬん、そこだけじゃないわけじゃないですか。もっと本当にきめ細かく、小金井市の市民がどうやって暮していくのか。移動の自由も含めて、ＣｏＣｏバス減らしちゃ駄目でしょ。色んなことを考えなきゃいけない時に、これはないよってことで、是非考え直してください。そして、私たち市民は別にね・・・で、聞きたいわけじゃない。でも、本当にみんなね。快適に暮らしたい。でも、そういう暮らしに根差したことができない市の職員とね、市長、副市長、それは本当に税金の無駄遣いだっていうふうに私は思うので、是非とももう一度市議会議員、市議会にもちゃんと説明して、新人の議員たちにもちゃんと教育してくださいよ。何も見解が出ないようなね、議員になっちゃったら困るわけだし。是非ともね、有効な税金を使ってください。皆ね、血の出る思いで暮らしてるんですよ。どう思ってるんですか。やるんだったらちゃんとやれ。そしてモータリゼーションだけじゃない。何言ってるの。それからね、そう思いませんか、是非とももういっぺんちゃんと組み立て直してくださいよ。みんなこうやって暑い中ね、年寄りたちが来てんのは、それはもう心を痛めてるからなんですよ。ということでこれ以上言えませんが、よろしくお願いしたいと思います。以上です。
市長	ありがとうございます。都市計画マスタープランの中では、様々なことを位置付けております。この公共交通もしくは今おっしゃったね、その、人の移動に関することについては基本目標の２で、人・物の円滑な活動を支えるまち。こういったことを掲げております。目指す将来像としては、都市の骨格である道路ネットワークが形成され、人・物がスムーズに移動できるだけではなく、円滑に災害時の救助活動ができるまち。これ４つあります。２つ目に、歩行空間及び自転車利用環境を形成し、子供の高齢者及び障害のある人等、誰もが安全で快適に移動できるまち。３つ目が、まちなかは安全な歩行空間が確保され、人中心の空間を形成し、居心地がよく歩きたくなるまち。４つ目に、公共交通及び新たな移動手段の活動等により、移動手段を自由に選択でき、坂の多い市内を誰もが円滑に移動できるまち。こういった将来像を定めて、中々やっぱりすぐですね、全てあれこれっていうことにはなりませんけども、我々としても計画的に今掲げたことを実現できるように取り組んでいくっていうことをやってるわけです。ＣｏＣｏバスの話しされましたけども、本当に我々としても非常に困ってますが、路線がなくならないように、今、公共交通活性化協議会に部会を設置して、路線がなくならないように、どうやって維持できるかってことについて今協議をしているところでございますので、引き続き取り組んで参りたいと思います。以上です。
都市整備部長	はい。マイク。
参加者	初めて意見を言います。小金井に住んで７０年。７０年。来たばかりの時は、発掘をやって、泥だらけの土埃のひどいところで、私引っ越したのよって友達が遊びに来て、あんなとこに越したのって言われてすごい恥ずかしかったんだけど、今皆がすごくあのようすばらしい武蔵野公園、それから、あの野川公園も築き上げてきて、そして楽しいイベントもいっぱいあって、この間、全然知らないまちに行ったら、何しに行ったかっていうと、けやき出版が２５周年かなんかのパーティーやるんで、行ったんです。そしたら、全然ここへ来てる人たちが小金井って聞くと、原っぱ祭りとか、なんかワクワク祭りとかすごい楽しいじゃないって、そ

	うだよ来たことあるのって、ちょっと行ったら、あんな楽しいとこ、今どきないよって言われたんですよ。さて私が言おうと思ってるのは先程あちらでお話しがあったように、今日の朝の新聞でも見たんですが、この道路を作るに当たって300件からのお宅を壊して、道路を作るということを見て私そんなこと全然、ムジナ坂の下の数件とあと、あのケーヨーあたりの数件が壊れるのかと思って、友達にムジナ坂の下の方に住んでる友達、まだ壊されないまだ壊されないって言って、そんな感覚だったんですよ。でも、300件も壊すなんていうことを聞いて、絶対これは許せないって思うこと。それから、幅広い道路が、公園の中を突っ切っていくんですね。すごい2車線ですか、すごい道路ができるんですよ。そこで私は、それぞれの野川にかかっている橋の下によく行って、橋の下がどうなってるかっていうのを見ますと、クモの巣が張ってるどころか、あんな陰気な橋の下、通りたくないの、橋の下を通る時は上に上がって、橋をくぐらないで行くようにしていますが、あのようなもっと広い道が道路としてできたら、あの下は生き物の住めるところじゃないし、すごい陰気な暗い誰も行きたくないところができるだけなんです。そこで私は、要するに、利便性のある道路とか、色々災害のあった時は役立つ道路ということだけを、何か目の前に見せながら道路のことを考えているような感じで、緑なんていうものはこればっちもさっきちょこっと出てきたけど、アンケートの回答に緑について回答したのなんかなかった。この緑っていうのがまた素晴らしいわけで、私の孫は時々、実家に泊まりに来ると、こんないいとこないよ、こんな公園ないよ、小金井公園だって、そんなに自由もないから、武蔵野公園と野川公園すばらしい、僕は子育てする時ここに来て子育てしようっていうんですよ。地元だったくせに。自分が育ったのに。そんなわけで、何ていうか、この道路の利便性安全性そういうことももちろん大事ですが、そこに住んでる人間、人間性、子供たちの将来、私がそういうことを言うと、おばあちゃんは道ができてる時もういいから、あんまり言わないほうがいいよとか言われる。そんなわけで、こんなハートを大事にするということも考えると、1つのこの道路を作ることに對する考え方も大事な点だと思うんですよ。素晴らしいところ。ザリガニとってる子供がいます、鳥がいます、木、今は登るの禁止されてるけど全ての木に登ることができました。ついこの間まで。そのような大事な大事な、自然のある小金井の宝物、これをやっぱりアンケート取るに当たっても、そういうことがあるということも知らしめながら、ちゃんとアンケートをとって進めていって欲しいというふうに思っていますが、あのアンケート取る時はそんなことなんか何も示唆しなかったでしょう。ただ、アンケートだけの項目を書いてもらうだけでしたでしょうね。でもやっぱり、その外側には緑や民地や動物の素晴らしいところがあること念頭に置いて、今後、進めて欲しいです。
都市整備部長	ありがとうございます。それではあの御案内させていただきました第2部の開始時間を1時間ぐらい過ぎておりまして、それで昨日の進行の整理、これを踏まえまして、まず第2部説明を始めさせていただきます、第2部の質疑応答がございます。そのなかで、昨日もそのような形で、御意見をいただきましたので、一度ここで休憩をさせていただいて、第2部説明の後の質疑回答によりまして、この第1部、皆さんいらっしゃいましたが、第1部の御質疑と御質問等をお受けしたいと思いますので、御協力をよろしくお願いしたいと存じますが、よろしいでしょうか。 (会場からの声あり)
都市整備部長	ここでは中断して、はい次の第2部へ移ります。ここで一度休憩をさせていただきます、17時35分から、この時計で35分からまた始めさせていただきますと思います。第2部は17時35分から開始させていただきますと思いますので、少し御休憩していただければと存じます。よろしくお願いいたします。 《休憩》
都市整備部長	ここでご案内申し上げます。今開始時間、17時35分になりましたので、そろそろ始めさせていただきますと思いますが、お手洗いがだいぶ混んでいるということなので、もう少し開

	始の時間を遅らせていただきたいと思います。御理解いただきたいと思います。 《休憩》
都市整備部長	それでは17時40分、定刻を過ぎましたので、ただいまから小金井市における都市計画道路に関する市民説明会、第2部を始めさせていただきます。開会にあたりまして、市長の白井から御挨拶を申し上げます。
市長	改めまして、市長の白井でございます。2部の開会の御挨拶をさせていただきます。改めまして、本日はお忙しい中、またお暑い中、体育館も暑くなっておりますが、都市計画道路に関する市民説明会に多数お越しをいただきましてありがとうございます。これから行う第2部では、都施行の優先整備路線、小金井3・4・1号線、3・4・11号線に係るこの間の経過と現時点での市の状況について説明をいたします。令和6年度に、小金井市独自で行いました優先整備路線についての検証結果を取りまとめましたので、まずそのことについて、部局から説明をさせていただきます。続いて、その検証結果等を踏まえ、市長として、市長報告を行いましたが、当該市長報告を撤回し、再整理をお伝えをしたところでございますので、それについて、この間の経過と現時点での状況について御説明を申し上げます。なお、市長報告につきましては、撤回をしたものの、その内容としては3・4・11号線については、公約でお示ししていた中止、見直しを求める結論に至らなかったことについて、改めてお詫びを申し上げます。誠に申し訳ございません。経過について、また御説明させていただきますので、まず冒頭の御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。
都市整備部長	それでは、第1部で資料確認等させていただきましたが、この場では省略をさせていただきます。早速ですけれども、第2部について前方のスクリーン及び、お手元の資料を使って説明をさせていただきたいと思います。資料については、ホームページで公開をしております。では部局及び理事者から説明をさせていただきます。着座にて失礼いたします。
都市計画課長	それでは説明させていただきます。資料4を御覧ください。また、資料5、資料6の内容についても、一部御説明させていただきますので、併せて御確認ください。説明時間は、約20分程度を予定しております。 第2部の説明に当たりましては、都施行の優先整備路線2路線に係るこの間の経過と、現時点での市の状況について御説明いたします。本事業は、東京都施行の事業ではございますが、整備の効果や影響について、市が独自に取りまとめたもので、皆様からの御意見等を踏まえて、今後の対応について整理してまいります。これまでの経過について、御存知の方もいらっしゃると思いますが、内容について御存知ない市民の皆様もいらっしゃるかと思いますので、令和6年度に実施した、市独自検証や、これまでの経過を踏まえ、また内容を御説明させていただきます。 初めに、第2部の説明の流れです。まず市長から説明会の目的・経過について御説明し、その後、部局から優先整備路線の独自検証について、続いて、市長から市長報告の撤回について、最後に、現時点での市の状況について、という順で御説明させていただきます。それでは市長、お願いします。
市長	では初めに、説明会の目的について、私から説明をさせていただきます。本日、説明させていただく内容といたしまして、大きく2点ございます。まず、1点目が優先整備2路線を中止・見直しするために、マスタープランに基づき実施した市独自の検証についての御説明です。そして2点目が、その検証等を踏まえて行った市長報告と撤回の一連の状況についての御説明となります。これらの経過について、これまで市民の皆様にお伝えできていなかったことから、御説明する場を設けさせていただき、皆様の御意見を頂戴し、今後の対応について整理してまいりたいと考えております。検証の内容と併せて、御説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

都市計画課長	まず、優先整備2路線におけるこれまでの経過から確認をさせていただきます。平成28年3月、第四次事業化計画で都施行の優先整備2路線が整備方針に示されて以降、環境等への影響に関する懸念等が高まり、市民及び市議会から多数の意見が寄せられてきました。一方で、防災性確保等の必要性も指摘される中、様々な意見が寄せられている路線であります。そのため、市議会では意見書や決議が採択される等、この2路線に関し、様々な考え方が示されてきました。また、市としては、西岡前市長時代、平成31年から令和2年にかけて、東京都に3度要望書を提出しております。また、その間の事業主体である東京都の動きについてですが、路線ごとに状況は異なり、3・4・1号線については、設計の検討が行われておりますが、現時点では説明会や意見交換会等、開催されてはおりません。そして、3・4・11号線については、環境概況調査や概略設計等に加え、意見交換会や説明会等を開催されている状況であります。そういったことに加え、今年度は第四次事業化計画の最終年度にあたることから、東京都の動きを見据え、市として対応していく必要があると考えております。 次に、私が就任以降の2路線に対する対応につきまして、御説明させていただきます。私は市長選挙に立候補するにあたり、都市計画道路2路線は中止・見直しをと掲げ、小金井市の宝である、はけと野川の自然と文化を壊す2本の都市計画道路は、中止・見直しを要望するとして選挙に臨み、令和4年11月に市長に就任いたしました。そして、就任した当日、担当部署に対して、東京都に中止見直しの要望書を提出するための準備を行うよう指示いたしました。その後、担当部署と継続して協議を行い、必要な手続き、手順を検討、確認するとともに、調整を行ってまいりました。その上で、都市計画マスタープランに基づき、施行者である東京都に要望するため、根拠を明確にして説明する必要があると考え、令和6年度に、市独自の検証に着手いたしました。 その後、その検証を踏まえて、総合的に判断し、東京都に要望する予定でありましたが、令和7年市議会第1回定例会で行いました市長報告で、専門家の意見の引用及びその手続きが不適切であったため、この市長報告を撤回させていただきまして、現在に至っております。 まずは、この間の優先整備路線の独自検証について、課長より御説明をさせていただきます。 それでは、小金井市が独自に行った優先整備路線の検証について、検証がどのような目的で行われ、どのような結果になったのか、ということについて、検証の手順、検証方法、結果という順に、皆様に御説明させていただきます。お手元に、資料5、報告書を配布しておりますので、併せて御確認ください。また、詳しい経過や資料等については、ホームページで公開しておりますので、資料中の二次元コードから御確認いただくこともできます。 それでは、検証の手順から説明させていただきます。まず、検証を進めるに当たっては、都市計画道路の見直しの考え方を参考にするため、国及び他自治体の検証手法を参考に検討してまいりました。また、検証を進めるに当たっては、客観性、透明性及び公平性を確保するため、検討段階から市議会建設環境委員会、都市計画審議会に御報告させていただきながら、適宜意見を聴取し進めてまいりました。加えて、都市計画コンサルタント協会の専門家の意見等も取り入れながら、検証方法を決定してまいりました。決定した後、委託で進める定量的な評価の1次検証と、直営で進める定性的な評価の2次検証を同時並行で進めてまいりました。1次検証は、第1部で御説明した未着手の都市計画道路の評価を委託業者で実施し、市では項目の重みづけを実施することといたしました。これによりまして、客観性等を担保しつつ、未着手の都市計画道路における必要性について、相対的な評価を行なっております。 続きまして、2次検証についてです。こちらにつきましては、地域的な課題等からの観点を検証し、整備の効果や影響等、環境及び文化も含めて検証することといたしました。その上で、検証項目が市民の皆様の考え方とそごがないようにするため、市民アンケート及び団体ヒアリング等により、客観性を確保し、公平性に注意しながら進めてまいりました。その後、1次検証結果案、2次検証結果案、をまとめ、市議会及び都市計画審議会に報告させていただき、御意見を頂戴し、検証のまとめを行っております。 続きまして、1次検証について、具体的にどのような検証を行ったのか、御説明させていただきます。検証では、東京における都市計画道路の整備方針を踏まえるとともに、国土交通省の手引き等を参考に、委託業者の知見をいかした、市独自の視点を加えて指標を作成しました。
--------	---

これによりまして、未着手の都市計画道路の必要度を点数化し、相対的な必要性を可視化することを目的に実施しております。項目の内容等の詳細については、資料2を御覧ください。そして、評価するに当たっては、各項目の重要度は、地域によって一律ではないため、重要度に応じて各評価項目の重みづけを行い、点数化することで、路線ごとの相対的な評価を行っております。

評価項目は、大項目として、交通機能、空間機能、市街地形成として3つに分け、さらに中項目として、通行機能、アクセス機能、さらに小項目として、骨格幹線道路網の形成、都市間ネットワークの形成、円滑な物流の確保、交通処理機能の確保の4つがある、というように整理しております。なお、この検証に当たりましては、小金井市における道路の必要性や役割から評価しており、整備の課題や実現性等については、路線ごとに異なるため、2次検証で確認していくこととしております。

続いて、小金井市で行った重みづけアンケートについてです。手法については、階層ごとに指標を相対的に比べる一対比較により求めています。この手法は、不確定な状況や、多様な評価基準に対する意思決定の方法であり、問題の分析においての、問題解決型意思決定手法の1つです。また、アンケートの実施に当たっては、道路の機能が多様化していることや、指標間の違いが分かりにくいことが課題としてあったため、調査に当たっては、小金井市における道路機能の検討や説明会を実施した上で、アンケート調査を行い、丁寧に進めさせていただきました。多くの方に御協力いただいた一方で、公募市民及び公募町会長・自治会長向け調査では、アンケートに無回答又はアンケートの一部のみに回答となった参加者の方がいらっしゃいました。そこでの主な意見として、アンケートの趣旨と相違があった、項目の内容が分かりづらい、道路の必要性だけでは答えられない等の御意見も頂戴しました。

次に、市内の都市計画道路を区間ごとに一様に評価したものが、こちらの結果となっております。別途、配布しております資料5、報告書の13ページに結果一覧があり、15ページに路線図がございますので、御確認をお願いします。この表には、先程の19の検証項目が並んでおります。その下にアンケートの結果、出された配点の重みづけがございます。この重みづけは、全部足し合わせると100点になります。縦方向には、市内の都市計画道路、未整備の区間が全て並んでいます。例えば五日市街道ですと、No. 1からNo. 4までの区間がございます、都市計画道路は縦横交差しておりますので、交差点から交差点までを1区間としています。また、1つの街路について何区間がある場合には、区間ごとに評価をしたということになります。黄色で着色した箇所が、優先整備路線に位置付けられている路線となっております、No. 6、7、8が3・4・1号線です。これは、今回、優先整備路線は延長が約2kmですが、都市計画道路との交差が2か所でございますので、検証した区間は3区間となります。

続きまして、No. 20が3・4・11号線でございます。それぞれの区間について、採点后、順位付けをしており、その結果が一番右の順位という欄になります。検証結果をどのように評価するのかということで、評価の仕方を定義いたしました。5位区分ごとに分けて、上から順番に、高い、やや高い、普通、やや低い、低い、としております。普通だけは、7区分にしております。その他は全部5区分ごとに区分し、評価を行いました。その結果が、3・4・11号線は1位でしたので、相対的な必要性は高いという結果になっております。3・4・1号線は、2位、16位、15位でございましたので、それぞれの区間ごとの必要性は、No. 6は高い、7、8は普通ということになります。全体的な評価としては、必要性は一樣ではなかった、という結果です。

続きまして、2次検証についてです。2次検証では、必要性及び合理性について、地域的な課題等の観点から検証し、整備の効果や整備による影響の視点から、環境及び文化等について検証することとしております。これまでの東京都の資料、市民、市議会の意見、既往アンケート等を参考に、評価項目を作成し、その後、評価項目及び評価の視点について、評価項目の妥当性を確認しています。さらに、市民アンケート、野川・調節池利用者ヒアリング、団体ヒアリング及び都市計画コンサルタント協会の専門家の活用により、必要性及び合理性の調査をし、検証しています。

14ページでは、2次検証は、検証項目の必要性和合理性について設定しています。資料4、報告書10ページを御覧ください。設定した検証項目と、市民の皆様の目線とのそごが

市長	はいけないため、ヒアリングやアンケート等を行って、修正すべきものは修正をしています。その修正の結果を御説明しますと、例えば、必要性につきましては、防災機能の消防活動困難地域の解消、となっていた箇所がございましたが、防災という観点では、消防だけではなく、警察や自衛隊等も活動いたしますので、消防活動というよりは、災害時に活動が困難な、の方がいいのではないか、という御意見も頂戴したことから、そのように変更しております。 15ページは、合理性です。こちらは、市民アンケート等により、風土、という評価項目を加えています。これはアンケートを行う中で、国分寺崖線のエリアでは、はけの森美術館や、大岡昇平の小説、武蔵野夫人の舞台になっており、そのような文化的なものが生まれる、特徴的な場所だという御意見も頂戴しまして、風土、という項目を追加し、評価の視点として、文化的特徴への影響、という項目を新設しております。 16ページです。3・4・1号線につきましても、同様に、アンケート等を踏まえ、項目の修正等を行っています。 続きまして、17ページです。こちらが合理性の項目になっています。 18ページからは、検証結果の評価です。2路線の必要性及び合理性を順に評価しており、評価については2次検証に係るアンケート調査等の御意見も参考にしています。また、都が主催した3・4・11号線に係るオープンハウスでは、道路構造の検討で、国分寺崖線、野川、地下水等への影響を最小限に抑えることができる橋梁案が最適との考えが示されましたので、本検証では、都が橋梁案で事業化の検討を進めることを想定し、橋梁案を前提に検証を実施しています。こちらの説明資料では、報告書を抜粋した内容を掲載しておりますが、全体を確認する場合は、報告書の17ページ以降に記載がございますので、御確認をお願いいたします。 19ページです。評価の内容につきましては、例えば、報告書の19ページの合理性の環境に係る項目の国分寺崖線では、橋梁により崖線の上空を横断するため、地形の改変は部分的になる等というように評価をしております。詳しい内容は、資料を御覧ください。 20ページです。以下同様に、生活、歴史、風土の観点から合理性を評価しています。 21ページです。3・4・1号線につきましても同様に評価をしております。こちらについては、道路構造の検討が分からないため、それぞれのケースを踏まえ、評価を行っています。 22ページです。合理性に係る評価についても、評価を行っています。詳しくは、資料を御覧ください。 続いて23ページです。これらの評価につきましては、文章で定性的に評価をしています。この評価の結果について、ホームページの資料編に詳しい情報を掲載しておりますので、資料編の内容等御確認をお願いしたいと思います。市独自検証については、このように1次検証では定量化、相対的に評価し、2次検証では定性的に地域固有の課題から評価しております。これらの内容について令和7年1月にまとめております。私からは以上です。 では、ここから、検証を踏まえた、この間の経過について、私から説明をいたします。 私がかねてから主張しておりました、東京都にこの2路線の中止・見直しを要望する、そういう政策意思を持って、それをするためには検証が必要だと判断したわけです。ただ、この中においては、客観性が重要ですので、どういう構成にしていくなか、そういったことについては、私の方から示す、指示をすることはありましたが、検証の中身そのものには、私は関与しておりません。その上で、検証のプロセスにおいて、客観性、透明性及び公平性に特に注意して進めるように指示をしてまいりました。評価の根拠を明確にして、事実に基づいて評価するよう指示してきたところであり、それを受け、私の意思として総合的判断をするという流れでありました。そして、令和7年2月17日の優先整備路線の検証及び総合的判断についての市長報告を行いました。ここで、市長報告がどういう内容だったかということが、分かりづらいという御意見もございましたので、まずその2路線について、どういう判断をしたかのポイントだけ、結論の部分だけお答えをいたします。 3・4・11号線については、本路線は検証報告書を踏まえると、必要性を否定できませんが、自然環境保護の観点から課題が残ります。このため、環境に対する影響の低減に向けた、橋梁の設計内容について、見直しを求める必要があります。これが3・4・11号線についてです。
----	---

	3・4・1号線については、本路線は構造による具体的な動植物等への影響が不明のため、判断することが困難ですが、国分寺崖線はけへの影響が明らかであるため、事業化の手続きは一旦中止することが妥当だと考えます。こういう市長報告を行ったところです。 総合的判断に当たって、考慮すべき事項についての、環境の影響に係る専門家の見解についての箇所、専門家からの意見の聴取の結果を引用したところです。市議会でも指摘を受けましたが、市長報告をするに当たり、当該箇所を引用するための適切な手続きを欠いており、環境に関する専門家のご意見は、総合的判断を構成するに当たって重要な要素であったため、総合的判断を含む市長報告を一旦撤回し、再整理することとさせていただきました。 この場をお借りして専門家との調整が不十分であったこと、報告を撤回することとなった不手際について、専門家、御本人及び皆様へ心よりお詫びを申し上げます。また、冒頭、御挨拶で申し上げまして、繰り返しとなりますが、撤回したとはいえ、3・4・1号線につきましては、公約と異なる結論を出したこと、撤回を含めて、混乱を招く事態となりましたこと、改めてお詫びを申し上げます。 続きまして、撤回して以降から、現時点の市の状況について説明をいたします。撤回に伴いまして、3月の中旬に予定していた市民説明会は中止いたしました。また、東京都に対し、独自に検証した結果を踏まえ、総合的な判断の結果を、3月までに伝えるとしていたことから、文書で経過報告のみしております。このように、環境の専門家、市民説明会及び総合的判断の再整備等に加え、令和6年度中に示すとしていた東京都への対応について、これまで検討し対処してまいりました。昨年度中に、東京都に示すとしていた要望については、再整理し、本日の説明会を経て、第3回市議会定例会に、改めて、優先整備路線の今後の対応について、現状、市が取れる対応について趣旨説明をさせていただきたいと考えているところです。 撤回した後、市議会からは、2路線問題に係る市政の混乱を踏まえ、その責任を厳しく問う決議もございましたが、私としては、引き続き職責を果たし、市政に市民の皆様の信認を得られるよう、真摯に取り組んでまいりたいと考えております。本日は皆様から大変貴重なお時間をいただき、この間の経過と、現時点の市の状況について御説明をさせていただきました。これから、質疑の時間を設けておりますのでよろしくお願いいたします。
都市整備部長	説明が終わりました。それでは、これから質疑に入りますが、第1部及び先程御案内いたしました、第1部及び第2部両方の御意見、御質問で結構です。ただ第1部、第2部というふうにおっしゃっていただけると助かります。あと1点ですね、こちらの方でお伝えさせていただきたいのが、議事につきまして、こちらで後日公開する議事録の正確性を期すために、市として録音させていただきます。また、記録のため会場の様子を、写真撮影をさせていただきますので、御了承の程よろしくお願い申し上げますということと、冒頭整理をさせていただきます。市側の説明者の写真や動画の撮影録音等については制限はございませんが、発言者の方のプライバシーの保護のため、発言者の皆様におかれましては、録音や録画等の許可について、OKでありましたら、その旨、発言の時に、お伝えいただければというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。 それでは、いまから挙手の方を御指名させていただきますが、差し支えなければ、お名前と、あと地域の方はお伝えいただければ助かりますので、よろしくお願いいたします。先に、第1部ちょっとお待ちになられた方、先に。2番目に、はい。よろしくお願いいたします。では、どうぞよろしくお願いいたします。
参加者	中町在住の●●●と申します。録音、録画構いません。大丈夫です。すみません、第2部でこれからということなんです、第1部で当ていただけなかったもので、第1部の質問から入りたいというふうに思います。アンケートについてです。アンケートの問題点が色々指摘があったと思うんですね。で、私なりに整理しながら書いていたんですけども、まずアンケートの項目の内容の問題点が指摘されていまして。なぜ自然への影響についてであるとか、第1部のね、アンケートですけども、予算についての項目がないのか等々の内容からしておかしいじゃないですかという御意見がありましたよね。それから、取り方に問題もあるんじゃないですかと、2,000名を対象にしたということですけども有効回答率はそれ程高くなかったとい

市長	うことで、取り方の問題があった。それから、結果の統計の処理はどうなったという問題もありました。本当に優先度の点数に統計的な有意差がありますか、そういったことが処理されていないで、優先度が1位だの2位だの決められている。それから、丸や三角の印が押付いているけどもその根拠が不明確であったという指摘もありました。それから、このアンケート結果からどうして必要性が結論付けられるのか、その論理的な飛躍がという問題点も指摘されました。それから、道路を整備しなかった時にどうなるのか、という検証がないのではないかという事実の指摘もありました。そして、さらに、このアンケートを施行したコンサルティング会社がいるはずで、このコンサルティング会社による説明会とか説明がないじゃないか、当然の疑問だと思うんですね。市が丸投げをしておいて、その丸投げした結果を市が使っているということになります。細かいことになると、市ではなくコンサル会社という話になってしまう。両方揃って説明してもらわないと説明になってないというような意見がある。つまりですね、もっとあったと思うんですけども、アンケート一つとって、つまり必要性を検証するはずのアンケート一つとってこれだけの問題があるんですね。これ、アンケートからやり直す必要があるんじゃないでしょうかね。しかも、これだけという点がね、項目や結果の処理の仕方をするようだったら、ちょっと信用できないんですよ。なので、市民をちゃんと入れて、市民の声をただ聞くだけでなく、市民を入れた調査をもう1回すべきだと思う。アンケート、完全に破綻しているというふうに思います、これやり直すつもりありますか。というのが私の質問です。最初のね、この第1部のアンケートでさえ、これだけいい加減なんだから、この後きっと出ると思うんですけど、第2部の必要性の検証においても同様に同じようにコンサル会社に依頼してということですから、非常に問題のある調査であることが予測されると思います。なので、第2部の必要性の検証についても根拠として、恐らく破綻していると思われるので、やり直す必要があると思いますが、そのへんはいかがでしょうかというのが、私の質問です。 私からお答えをいたします。ちょっとお話の中で、アンケートとその1次検証の調査委託っていうものが、ちょっとごっちゃになってるかなという印象を受けたんですけども、いずれにしても、その両方において、問題点があるっていう御指摘だったんだと受け止めております。その上で、まずアンケートについては、自然の項目であつたりだとか、予算について聞くような項目もなかったという話もございましたが、問い方にも問題があるんじゃないかということでありましたが、すみませんが、このアンケートにつきましては、確かに自然の件について、具体的に聞くってことはなかったんですけど、あくまでやはり、市民の皆さんが、今のその道路状況をどのように感じているかっていうことを聞くために、アンケートを取らせていただいたということなんですね。要するに、意向の傾向を確認するってことで、具体的な路線であつたりだとか、例えば、確かに大事なことなんですけども、その緑について具体的に聞くというよりは、それは、緑について具体的に聞くというよりは、例えば緑の件は、ちょっと別の部署になりますけども、例えば、緑の基本計画とか、それとして、別で市民の意向を確認するものがあつたりもします。今回はあくまで、今後、市施行路線をどれを優先的に整備していくかというのを考えるための材料として、まず、全体の市の道路の状況について市民の皆さんがどう考えてるかっていうことを把握するためのアンケートでございましたので、ちょっと御指摘いただいたことは、意見として承りますが、アンケートをやり直すというような考えはございません。併せて、1次検証についてもね、丸等の根拠とかその統計的なこと等のお話もありました。コンサル会社の説明がないっていうのは、事実としてはそうなんですけども、もう今、市としてはですね、色んな分野において、民間の企業の力を借りて、こういった調査をやったりはします。で、やはりそれを発注した市側の、我々、例えば今回でいうと都市整備部の方で、その結果については、説明する立場にあるということで、コンサル会社にその説明を依頼するということは、あまりございません。御意見としてはお伺いいたします。第2部につきましては、さっき1部で説明しました、1次検証の市施行路線も含めた2路線も含めた、必要性の数値的な検証、そこの部分については、外部に委託しておりますが、先程ちょっと十分な説明じゃなかったかもしれませんが、2次検証としてやった部分については、どこにも委託をせず、課の内部で全て行っております。これについても問題あるっていうね、お声もあるかと思
----	--

	いますが、そういう取扱いで行って参りましたので、その点ご了承ください。
参加者	だからね、意向の確認を行っただけなんだということなんですけども。意向の確認になってないでしょ、という話をしているんです。こういう質問だけ用意されて意向もクソもないでしょという、そういう話をしているんです。
都市計画課長	私から改めてそのアンケートの趣旨目的について御説明をいたします。今回のアンケートでは、市民の方々が、現状の市内の道路にどのような問題点を感じているのか。今後、どのような道路を望んでいるのか等を把握するというのが今回のアンケートの趣旨でございます。
都市整備部長	それでは、では、あと1回質問で。
参加者	そのアンケートしかやってなくて丸も三角もないでしょ。だから、そこに飛躍があるでしょって皆が言ってるのに、それしかやってないじゃないですか、逆に。だから論理的に飛躍があるでしょ、整備の必要性もクソもないでしょう。それを根拠にされちゃあ困るよという話です。
都市計画課長	アンケートの評価の仕方について、ご指摘を頂戴しました。丸と三角の評価については検証の方で丸と三角の評価をしております、アンケートの方はあくまでも集計をいたしまして、グラフ等の統計処理をしてお示しをしている、ということでございます。詳しくは資料をご覧ください。
都市整備部長	それでは、次の方、2番目ということで。
参加者	今の2次の方の説明、なんか非常に最もらしくおっしゃってますけども、要はですね、行政がコンサルタントに相談しながら、勝手に決めたってことですね。項目もウェイト付けも、行政だけで決めた後、どこが公正公平なんですか全く理解できないですよ。それを担保するためにですね。市民にアンケートをなんだっけ聞いた。それ私参加したんですけども、3、4回。昨日も言ったんですけど、3、4回、言われたんですけど、大部分がそんなアンケートに答えられないって。ほぼほぼ全員、あの、やらなかったんですよ。そういうのが全く入らないでね、公平公正に決めましたって、ちゃんちゃらおかしいですよ。こんなの信用できると思いますか。先程の1次の時も同じように、アンケートと検証も同じだよ、勝手に行政が決めて、それを非常に公明公正に決めましたよと、もっともらしく言うけど全く納得できません。みんな思ってるから色々言ってるわけですよ。言わないのは行政だけですよ。だって、市民参加してないんですもん。だって。本当は中にね、そういう、どっちかの・・・やるんだったら、両方んとこの代表者数名入れて検討をさせるべきですよ。そうするとですね、必ず本当に必要性の議論が出てきたはずですよ。だからそれについてコメントをいいます。だからその議論については後で皆さんいるからこれ以上言いませんけども、午前中の続きをお願いします。午前の続きもう一度言いますとね。小金井市は混雑してる場所ありません。先程市長は、やや混雑する場所を混雑すると言いましたが、そんな感覚だと困りますよ。9割以上が混雑していないとやってるところに、何で道路が必要なんですか。それは置いといて、置いといてですよ。市長がですね、今、お詫びしますってね、言ったんですけども、理由を言わないわけですよ。総合的判断云々っていうのは。終わりにするとしたら、今まではこうこうこう考えてましたが、これこれこれだから、答え、結論を変えましたっていうのが当たり前の話でしょう。それが全然聞こえない。昨日ちょっとおっしゃったのが、小金井市民の安全の安心安全のためにやりますというのが、具体的に全く分からないですわ。午前中言いましたが、具体的に教えてください、先程言ったように。交通は渋滞の緩和については、市民の9割以上が要望ありません。今度の3・4・11に例をとって、これができたら、自転車、バギーの交通が良くなるのか、それもないと思います。災害の時には、どういうふうになるのか。できた場合どうなるのか。他に何か延焼帯とか、交通とか、色々言いましたが、自然を壊してですね、我々のですね、住民をどかしてまでやらないといけない。そんな重い判断をする必要がある程、そんな必要性が

市長	あるのか、その説明をきっちりお願いします。 昨日もちっと説明をさせていただきましたが、ちょっと取扱いがすごいややこしいのが、市長報告は出して、先程もお詫び申し上げたような、公約とは異なる判断を私は出したのは事実ですが、結局それを撤回したという手前ですね、それを積極的に何かこう示しながら説明するってのは、どうなのかっていうのがあったもんですから、スライド含めてちょっと御説明は加えてなかったところです。ただ、あくまで当然、その質疑の中で、冒頭それからそういう問いかけはくると思っておりますので、改めてお答えをいたします。まずですね、今回公約を実現するっていうことを、私自身、市長になった当初から、もう初日からもう指示をして、取り組んできたのは、それはそれで事実です。ただ、結果的には、要望を出すっていうところには至っておりませんでした。それは、結局、都市計画マスタープラン、小金井市の都市計画マスタープランに照らし合わせて考えますと、道路っていうのは小金井市だけで完結するものではございませんので、当然、東京都を含めた関係機関としっかり連携をとっていかねばならない。それを理解を得るための根拠として、根拠を示すために、今回の検証というのをやったということになります。結果としてですね、1次検証の中において、3・4・1号線については先程少し触れましたように、一定の見直しを求めるっていう結論にはなっておりました。ただし、3・4・11号線については、その道路整備の必要性は否めないという、結論、判断を私はしておるわけですけども。やはりこの、野川、国分寺崖線の自然環境については、しっかり守っていきたい、この思いは今でも変わりませんし、その判断をする時も思っておりました。しかしながらですね。しかしながら、まず1次検証で、その相対的な必要性については、やはり1次検証については、まず、相対的な必要性が市内の未施行路線の中でトップだったっていうこと、まずこれは明らかなことですね。で、2次検証でもですね、防災面や地域の安全性として、交通の円滑化を図る観点から、この路線の必要性は、やはり、市として否めないということを、私としては捉えたわけであります。改めて、これも色々御意見をいただきますけども、能登半島地震が昨年1月1日に発生いたしました。これは地形や環境、条件、全く違うのは、もう当然私も分かっております。それだけをね、持ち出して、防災っていうことはおかしいという御意見があるのは理解をしています。ただ、南北、小金井街道から、天文台通りまで3.6kmにわたって南北幹線道路がないっていうのは、小金井市のやはり大きな課題であることは間違いありません。それは、防災を含めて、そのインフラとして、必要なことっていうのは、我々はやはり考えないといけないと思っています。繰り返します。自然は非常に大切なんですけども、併せて市民の生命と財産を守るということを考えるのも、我々、行政の責任、私市長としての責任だと考えておりますので、そういう観点を含めて、今回はそういう判断をさせていただきました。 (会場からの声あり)
参加者	皆さん、これ納得できますか。全く回答になってないんですよ。今ですね、検証の目的を、初め市長は、どちらかっていったら中止の方向で検証するみたいなことをおっしゃってましたけども、具体的に検証作業はそん中に市民も全く入ってないし、行政が勝手に決めてるわけじゃないですか。それで検証した検証したって言ってね、やる方向に出ましたって、1次検証2次検証と言われても納得できるわけないでしょうが。私が聞きたいのはね、市長が、その検証の結果、だからね小金井市民の安心安全を具体的に言ってる、何か知らんけど、3メートルないのはおかしい。それじゃ納得できると思いますか。具体的に言ってくださいよ。具体的に、災害の時にどんな時に、あの道路がないとどんなマイナスがあるのか、どんなマイナスがあるんですか、教えてくださいよ。ないと、どういうマイナスがあるんですか。災害の時に。言ってくださいよ。何で考えるのよ。何で考えるんですか。 (会場からの声あり)
市長	あの、すみません、地域の安全性っていう話もさせていただきましたが、生活道路への通過

	車両の進入っていうのは、この間ずっと課題であったと認識をしております。調査によると、連雀通りから二枚橋に入る車の60%、みはらし坂に入る48%、約半分は、通過車両になっています。要するに二枚橋へ抜ける抜け道ですね、あそこの危険性っていうのは、私もあそこの通り沿いに昔住んでましたから、よく分かっておりますが、その危険性っていうのは、ずっと課題となってきたのも事実です。過去5年間、これは令和元年から令和5年の5年間で、この二枚橋へ抜ける道で7件の負傷事故も記録されておまして、要するに毎年1件程度、こういった事故っていうのはずっと起こってきたと認識をしております。災害時に関しては言いますと、大規模災害発生だけではなく、火事も含めて、何かしらやっぱ事故、災害が発生した時にですね、南側から入る進入路がない、一方偏集になってるっていうところは、ずっと課題であるということで捉えております。南側の東八道路及び消防拠点からもアクセスが向上するっていうのは整備によって明らかになっているところです。 (参加者からの発言あり)
市長	いずれにしましても、すみません。私自身が、市議会議員だった時は、公約を掲げた時には分からなかったのか。 (参加者からの発言あり)
参加者	そんなことを聞いてないよ。市民の安心安全のところあれができたらどういうプラスになるのか。今の説明じゃ全く納得できません。今のですね、私も二枚橋に住んで毎日ぐらいですね、あの坂通っているんですけども、たまに渋滞するんですよ。それはすれ違う時にだけ、そんなに渋滞しません。何で、それで南からって行って二枚橋の坂があるじゃないですか、なんとか坂があるじゃないですか。何でそれが理由になるんですか。昨日もね、だから救急車たって、一昨日、昨日だったとかね、ちゃんと消防車、家の前狭いんですけどね、ちゃんと入ってきましたよ。全然問題ない。救急車も入ってますよ。何で問題あるんですか。何でその度にね、道路が必要になるんですか。教えてください。
都市整備部長	はい。そろそろちょっと一度次の。
参加者	ちょっと待ってよ、返答がないのに何で次に移るんですか。
都市整備部長	事情が。
参加者	これ事情じゃなくてね、こういうことをやってるからね、小金井市は良くならないんですよ。そういうことも分かってないんですか。こんな曖昧にして、進めようとするからいけないんですよ。きっちり答えてくださいよ。答えてください。
都市整備部長	続けさせていただきます。 (参加者からの発言あり)
参加者	今日はそういう場でしょう。
都市計画課長	先程アンケートの調査についてご質問を頂戴していますので。 (会場からの声あり)
参加者	課長はいいの。課長は。課長はいいの。市長に答えてもらいたい。市長に答えてもらいたいんだよ。あなたはいいの。課長はいいんだよ。

	(会場からの声あり)
都市計画課長	先程アンケートの調査についてご質問いただいていますので、私から説明させていただきます。まず、アンケート調査について3回御参加いただいたということで、その件は大変にありがとうございました。
	(会場からの声あり)
都市計画課長	先程、御説明させていただいたとおりですね、今回のアンケート調査は御参加いただいたアンケートと今回のアンケート調査はまた別の物でございまして、今回のアンケート調査はあくまでも2,000人に・・・。
	(会場からの声あり)
都市計画課長	また別のものでもございまして、無作為抽出で行いました先日のアンケートの報告を先程させていただきました。あと3回御参加いただいたアンケートは、1次検証の重みづけの部分についてのアンケートでございまして、その部分は先程も御説明いたしましたけれども、AHP法という階層分析法による評価によりまして・・・これはご参加いただいた時にも御説明をしておりますけれども、多様な価値観を評価することです。
	(会場からの声あり)
都市計画課長	それを今御説明させていただこうとしておりますので。
	(会場からの声あり)
都市計画課長	先程御質問を頂戴しましたので、私からお答えをしております。
市長	先程すみません、説明をしたつもりですが、十分じゃないということで。大規模災害発生した時に、あそこの狭隘となっているところの道路、狭隘となっている東町五丁目の地域に、緊急車両を含めて、入りにくい現状があります。
	(会場からの声あり)
市長	市長として責任があるから、私としては、この道路を反対することはできない、要するに道路整備の必要性は否定できない、こういう判断をしたわけです。ですので、先程説明しましたように、1次検証においては、相対的な評価が高いじゃないですか。それは、1次検証について先程具体的に説明をさせていただきました。
	(会場からの声あり)
市長	ですので、3.6kmにわたって南北の幹線道路がないというのは、いざ災害が発生した時に、例えば緊急車両であったりとか、なんか救急搬送するとかっていう時の道路としての選択肢、これは、やはりそれなりの規模の道路がないと、そういう道路がふさがってしまった時に、どうしようもなくなってしまう。要するに、通過する選択肢がなくなってしまうということなので、ある一定程度の、しっかり選択肢を、道路として確保した上で、それが災害の備えにもなるということだと、私は認識をしております。
	(会場からの声あり)

市長	また、普段から南側からの進入路がないじゃないですか。 (会場からの声あり)
市長	他の理由はないです。いざという時に、市民の生命と財産を守るっていうことが市長の責務です。決してだからこの道路を積極的にどんどん早く作ってくれっていうふうにはまでは、思えないのは、今まで、この自然環境を守りたいと思ってきたからです。ただし、この道路についてどう捉えるかっていうことを問われた時に、その整備の必要性は否定できないっていう、それで・・・ (会場からの声あり)
市長	逆に言うと、申し訳ありません、市民の命と安全を守るために、この道路はいらないっていうことを言うことも、逆に非常に重たいということです。 (会場からの声あり)
市長	ですので、市長報告の中においては、当然その自然環境への影響、これは我々としても、大切にしていってしっかり捉えてますので、そこに大きな懸念がある。 (会場からの声あり)
都市整備部長	次の方どうぞ。 (会場からの声あり)
参加者	ちょっといいですか、落ち着いていただいていいですか。東町五丁目の道路の真っ只中におります●●●といいます。いいですか、これからお話します。これ今までお話を聞いてて、市長の態度が曖昧さ、私はね、ものすごく憤りがあります。なぜかという、市長は、こないだもありました昨日ですか。●●●っていう、生物学者の先生のプライドをものすごく傷つけちゃって、自分でどうやって対応したのか聞きましたら、本人にですよ、電話で対応しただけだと。そんなことでどうすんの、こういう大切な時に、こんななんていうの、人の命を預かる人がそんなことでいいのかねと。常識が違いますね。レベルが違いますね。辞めてもらったほうがいいよ、私はそう思う。そうでしょ、本当おかしいと思うよ。答えられないくせして、ふらふら、ふらふら考え方が変わってるんじゃないか。それでもう1つ重要な話があります。っていうのは、この道路っていうのか、南小がそばにありますけど、南小の公園の中の近くに拡声器を備えようとしてるんですよ。それがどんな影響があるかってことは、多分皆さん知ってらっしゃる方いると思うんですけど。子供の勉強の時に被害を・・・わせるとか、そういう話はずれますけど、そういうことについて、もっともさ、子供のこととか、そういうことを心配して、この道路が本当にあったらいいのかどうか、そういうことで決める必要があると思うんですよ。それが全くない、気持ちが全く通ってない。先程も女性がおっしゃいましたが、気持ちの通ってない人がやれるの、こういうことをずっと、やっていくの、真っ平ごめんだね。市民のこと考えていない。道路を作るための自分たちのことしか考えてないと。そんなことしか言えないじゃないですか。どうするんですか。辞めてしまえよ。本当に腹が立つ。本当に皆さん大切な時間を割いてこうやって来てるんだから、ちゃんと聞けよ。人の言っていることを、それでちゃんと回答しなさいよ、自分で、ふらふらして、考え方が違うじゃないか。昨日言われたでしょ、●●●の前で。自分の気持ちは変える必要がないよと。本当まっとうなね、道路反対の気持ちをそのまま続けたほうがいいんですよって先生にも言われたでしょ。そんなの聞いてやしない。何かそう、あれはこうだとか、違う理由があるとか、言うんだけど。じゃあ、私

	の方から言うんだけど、もう市長さ、考え方変えないと。おかしいじゃない。自分たちのためじゃなくて、市民のためですよ。小金井の市民のためにやんなくちゃだめですよ。この道路についてもですね、あと武蔵野公園道路の計画のですね、8年前ぐらい皆さんの意見を聞いたんですよ。75%ぐらいの人が反対してるんですよ。で、さらに99人に聞いて、2人賛成だけど、97人が反対って言ってるわけですよ。そういうのを全然今回のアンケートに取り入れてないじゃないですか。市民の気持ちですよ。酷すぎるよ。もっと言うとな、MHP、という仕掛けがあるでしょ。その新しい仕掛けもね、本当に今始まったもんじゃなくて、もう既に我々の道路運動で苦勞してる最中にはアメリカでそういうのをやってるんですよ。過去に色んな事例あるし、いい方向に使えばいいのに、今回は全然、市では道路の必要性だけしか見てなくて、それで環境の方も見てないし、全く、何見てるのって話ですよ。私の方から以上で、言いたいこと終わりましたので、よろしくお願いします。反対しましょう。
都市整備部長	では、次の方。 (会場からの声あり)
参加者	私、終わってないんだけど。市長の回答がないから終わってないんだよ。回答してくれないから終わってないんですよ。でね、一言いうとな、皆さん、あの回答、納得絶対してないんですよ、……。回答ができないんですよ。そういう考えないわけ。きちっと考えてないからこういうことになっているわけ。なぜかっていうとな、行政に任せっきり、自分の意見できない、市民の意見を聞かないでね、行政の意見しか聞くことができない。そういうふうになれ果てちゃったんですよ。かわいそうになったなあって、何言ってもね、この市長には無理かもしれない。これは申し訳ないけど、市民のね、意見を聞く耳持たないでね、自分の保守のためにあだこうだ抗弁してね、理由にならない理由を言ってるならね、市長の資格ないですよ。違ってた怒るんだったらね。きっちりした回答を出してくださいよ。本当にあれが必要だという論拠を示してくださいよ。今までの意見、話聞くと全くだめ。今後、今後こんなことを続けてやるつもりですか。 (会場からの声あり)
都市整備部長	では、ご意見として賜りまして、次の。
参加者	白井さん、白井さん、お願いだから市長辞めてください。おかしいですよ。あなた、反対する意見するって、みんなが投票したんですよ。みんなどういう気持ちで投票したか。これ逆のこと、逆の立場ですよ。何でまだ市長やってんですか。おかしいでしょう。何でまだ市長やってんの。その権利はないはずでしょう。何で逆のことやってるのに、市長やってるのか、早く辞めてください。その理由を教えてください。何で続けてるのか。おかしいよ。
市長	3月に、今回の件もありまして、市議会の方からは、出处進退について、自らの進退を明らかにする決議も、可決をされましたので、私としては非常にこれ重く受けとめて、辞職するということも考えたわけでありまして。それは、公約と異なる判断をしたことへの責任ではありますが、ただ一方で、仮に辞職するとして、今の状況の中で、私自身、これは道路だけではなくて、様々な市政課題、山積しておりますので、それを投げ出すわけにもいきませんので、私としては、やれるんだったら、出直し……
参加者	投げ出していいんだよ。もうあなたに資格はないんだから、他の人がやるんだよ。そこを聞いてるんだよ。理由になってないんだよ。
市長	まだ話している途中ですので、すみません。

参加者	話してる内容がおかしいから突っ込みいれているだけだろ。 (会場からの声あり)
市長	仮に辞めるとなれば、私としては、今の市政の状況、道路だけでない様々なことについて途中で投げ出すわけには行きませんので。辞めるんだったら・・・。
参加者	自分で道路問題あっさり投げ出してんじゃねえかよ。何言ってるんだよ、都合のいいことだけそんなこといって。
都市整備部長	すみません、市長の説明が終わってから。
参加者	説明がおかしいから言ってるだろ。 (会場からの声あり)
市長	いずれにしても公約と異なる判断をしたことへの説明をして、この道路問題への対応、これも重要問題の、重要課題の1つであります。それ以外にも様々な市政課題抱えておりますので、しっかり・・・。
参加者	いや、だからその資格がないって言ってるんだよ。
市長	これが今私に求められていることと認識をしております。
参加者	求めてないよ。資格がないって話してんだよ。何言ってるんだよ。何で選挙でそうやって言って、それで投票したんでしょ。それで違うことをやってたら、自分がやりたいから言ってるだけじゃないかよ。市長でいただいけなんだろう。その資格ないんだよ。違うこと言ってるんだから、ちゃんと答えろよ。辞めろよ。本当頼むから、いくら貰ってるの。月いくら貰ってるの。
市長	96万5,000円です。
参加者	ふざけんなよ。あのね、みんなもっと安い賃金で働いてるんだよ。あれが何で、そんな公約違反した人が、毎月毎月90何万も貰ってるんだよ。冗談じゃないよ。お金返してくれよな。泥棒だろそれ。おかしいだろう。何か月やってるんだよ、公約違反してから。その分のお金ちゃんと戻せよな。泥棒だよ。やめてくれよ本当。ちゃんと理由になってないよ。公約違反して、何で市長続けているのか。ちゃんと理由言ってくれ。
市長	理由は先程申し上げました。
参加者	だから理由になってないじゃないかよ。あなたにその資格がないって言っているんだよ。何で他のやつもやるからって、その他のやつをやる資格がないってことを言ってるんだよ。
市長	申し訳ございません。
参加者	選挙の民主主義の破壊だよ。だますなよ人のことを。詐欺師、裏切り者、泥棒。早く辞めろ。
都市整備部長	では次のご質問の方、こちらの席の方を先に。次の方マイク、一度もしゃべってない方。 (会場からの声あり)

参加者	いいですか。私はね、市長はただ公約を裏切っただけじゃなくて、実はこの1年間、市民と市議会、支持をしてきた市民をだまし続けてきた。要するにですね。いいですか。1次検証のスキームを見た時に、8月議会でその傍聴に行った時にですね、白井さんを支持している市議は、私が、もう白井さんはこれ容認してるよと。だって、1次検証で、先程も言いましたけど、2路線を選定した項目等に基づく調査を都市計画コンサル、都市計画コンサルって都市計画事業を進めるためのコンサルですよ。そこへ出した。その時点で白井さんはもう容認してるよと言ったら、その市議さんは、白井さんがそんなことするわけないよ。3月にはきっと中止のね、申し入れをするんだから。そのあとで半年間、重みづけだ何だかんだって、ごてごて猿芝居をやって、さっきの1部で出してきた報告書には重みづけなんか外してるんですよ。要するに、2次検証は2路線を選んだ項目で丸バツを付ければ、同じように2次検証に出てきたところがトップにくるのは当たり前じゃないですか。東京都がやったのを後追いをして、それだけを専門家に出して、昨日●●●も言ってるんですけど、本当は合理性の部分、要するに、その環境アセスの問題だとか、生物の問題だとか、そういうところについて、外部に出して、本当に、小金井市に対しての影響は道路を作ることに對しての対価として、本当に市民が納得するのかわかっていうのを出すのが、本来の検証じゃないんですか。それを、施政方針の中で、事業化の中止を求めるためには、必要性合理性をきちっとしなきゃいけない。市の独自の検証する、その市の独自検証で外に出したのは、道路を作るための都市計画コンサルですよ。それで、2次検証でやった合理性は、市の中でごちよごちよやって、色々問題があるけど、何とかなるよねとか、影響が小さいよねと、昨日●●●もおっしゃってましたけど、例えば絶滅危惧種のキンランについては移植すりゃいいよねと。だけど、●●●は明確におっしゃったようにキンランなんか移植できねえよと。そういうところを、専門家の意見を聞いた上で、小金井市としては、道路の必要性よりも、小金井市の緑と環境を守ることが大切なんだ、そういうふうにしなきゃいけなかったところを、もう最初に、委託を出した時点で、市長は容認に変わってたじゃないですか。で、この1年間を無駄にしたことによって、リコール運動だって起こったかもしれないし、12月の建設局のオープンハウスなんかもやすやすやって、建設局はアリバイ作りをやっちゃったわけですよ。この1年間の時間を、みんなね、潰したってのが最大の罪ですよ。そこをね、きちっと反省してもらわなければいけない。だからこの施政方針演説にはこんなこと書いてるけど、もう委託出した時点で、市長は容認に移った。容認のつもりだったじゃないですか。そこをね、きちっとね、回答してください。
市長	私自身が考えを変えたのは、今年の年明け、結局総合的判断を作る際に、判断をしたっていうことになります。繰り返し申し上げますが、都市計画マスタープランに基づいて考えますと、小金井市だけの問題じゃありません。道路は。ですので、しっかり連携をとっていくためにも、根拠を作らなければならない。となると、独自の検証が必要だとなったわけです。そのやり方については、色々御意見をいただいておりますが、決してその最初の段階から、そういうふうに変ったというわけではなく、議会でも述べてきましたが、あくまで公約を果たすためにそのプロセスを踏まないといけないうという形で踏み切ったということは事実です。 (会場からの声あり)
市長	とは言っても、客観的に路線の必要性っていうのを分析する必要があるという、それがだから1次検証です。 (会場からの声あり)
都市整備部長	手を挙げられてる方がまだ多数いらっしゃいますので、次の方、この列の一番後ろの方。
参加者	どうも私、梶野町の●●●と申します。前はね緑町に住んでいて、法政大通りのすぐ脇に住んでいたんです。そこにいる時は、道路が通ればね、いいよねとは思ってました。でも、あそこの道路って、ほとんど車いないんですよ。必要性が高いっていう意味が全く分からない。そ

	こをまっすぐ通したら、そりゃあればいいですけども。自然を壊して橋梁を建てて、どのぐらいかかるのか分からない。本当に。そういう税金を使って建てる程の必要性があるとは全く感じられないというふうに思います。私も前は白井さん支持しましたが、公約を幾つもね、守らないんであれば、その時点で、やはり進退決めるべきだと私は思います。先程言われて、それで、きちんと必要性をね、説明して、それで市長選に出ていただきたいと思います。今の説明で、南北の緊急の時にね、何かある時に必要なんだということであれば、それを公約にして、市長選出直していただきたいといふに思います。是非よろしく願いします。
市長	御意見として受け止めておきます。 (会場からの声あり)
参加者	必要性が、優先順位高いっていうふうに言ってるけれども、あそこに全く道路、車が通ってなくて渋滞なんか全くありませんよ、あの通り。まっすぐ通らせなきゃいけない理由が全く分からない。どちらにしろ、小金井公園を突っ切るような道路はできないわけでしょう。だとすれば、南北に通さなければいけない理由は全く理解できない。どうして必要性が高い。そこについて説明をして、出直し市長選やってください。以上。
都市計画課長	3・4・11号線の必要性について、御意見、御指摘を頂戴しました。まさにおっしゃるとおり、必要性があるのかないのか分からなければ、判断ができないというのは全くそのとおりだというふうに思っています。そのために、その必要性があるのかないのかというのを相対的に検証しなければならぬというふうに思っておりまして、それで行った検証が1次検証でございます。その辺は、先程から申し上げているとおり、19項目を掲げまして、これは全てまず必要性ということでございますので、都市計画道路の役割と機能等について判断をしたところです。これについては、これまで、その必要性の検証自体が妥当なのかどうかということもですね、やっぱり問われると思っておりましたので、そのやり方についても、都市計画審議会や市議会に示しながら、あるいは都市計画コンサルタントから派遣を受けながら、専門家の意見を聞きながら、やり方自体も決めて参りました。それで、この検証項目ですけれども、地域固有のやっぱり価値感っていうのがあると思います。そのために、重みづけというのをやって参りました。小金井には小金井のそれぞれの機能のやっぱり価値感があるだろうということで重みづけも踏まえて、それで点数化をしたということでございます。その結果が出まして、それをお示ししたということでございます。また合理性についてというか、自然環境についての観点が入っていないというご指摘も多数頂戴しております。それについては、2次検証の方で、個別の課題について、環境面も含め、検証しているつもりでございます。その結果につきましては、全て根拠を資料に載せております。単純に我々の主観的な判断で載せたものではなくて、その述べている文章については全て根拠を載せております。御参照いただくようお願いいたします。私からは以上です。
都市整備部長	手が挙がっているので、今日まだご発言されていない方いらっしゃいますか。
参加者	私も梶野町に住んでいる●●●というもので、道路問題について初めてこういう場にきました。白井さんにね、提案ですけども、今辞職しろとか色々言葉が飛び交っていますけども、辞職をしないんだったら、住民投票というのは市長の起案でできますから。全市民に、この都市計画の道路、特に3・4・11について、作るべきか作らないべきか。二者択一の単純な質問を、全市民に発出することはできますよね。これはできるか、できるかできないかと言ったら、市長の判断でできるんですよ。もちろん市民が、条例を作ってやることもできるけども、私はそれが今、今日ここでね、色んな話が出てますけれども、収束させる1つの方法ではないかなと。で、その条例を作る時に、この300件の方々も中心に置いて、その条例案を作るべきだと思います。彼らが、納得しない限りは、道路ができないわけです。そして自然は何十年何百年かかってつくられた小金井市の財産、それを壊してでも作るっていうことについて今市

	長も担当課長も部長も色々説明してくれて2日目だけれども、全然収まらないでしょ。なぜ収まらないかって言ったら、蚊帳の外で全部決めてきたからです。自分たちが反故にされて作った条例で、妥当なんだ、適切なんだと、何百回説明を受けても、この紛糾は収まらないと思います。だから、なる程なってる。こちらの方も確か、説明してくれと。なぜ作らなきゃいけないのか。作ったらどういう利益があるのかということを説明して欲しいと言って、市長も説明しても、全然説明になってないって皆さんおっしゃってます。だから、聞きたいことをちゃんと答えられるだけの準備をして、出直した方がいい。これ選挙でという意味ではなく、武蔵小金井駅に集まって、今から説明するから皆さん来てくださいっていう、そういうやり方もあると思う。
市長	住民投票の御提案がありました。物理的っていうか、そういう手段があるっていうことは、分かります。ただ、今それをやるっていう考えはございません。
都市整備部長	すみません。次の。
参加者	すみません、貫井南の●●●と言います。録音、録画もOKです。ちょっと冷静になって考えたいんですけども、この道路は都施行ですよ。相手が、都なわけですよ。それで、さっき説明の6ページですか、説明会の目的、経緯、これを見ていただけると、書いてないことが実はあると思うんです。7年の3月末に東京都に報告するっていう、こういうのを聞いたんですけど。それはそうですね。東京都に報告すると、検証の結果。で、そこから逆算していくとですね、話がちょっとまた違ったふうに見えると思うんですけども、6年の4月にその独自検証に着手という形になってますが、令和5年の10月か12月ぐらいかな、市独自で何か検証やるっていうような話があって、これは何か僕はまずいんじゃないかなと思ったんだけど、結局決まってしまって、やりました。で、白井さんが市長になってから、中止を指示したわけですよ。東京都に話しにいきたいということで。ところが実現しなかったわけですよ。で、間に入ってる部局の方は困ったと思うんですよ。東京都から会いにいきたいって言ったら、多分撥ねつけられたと思うんですけども。その間に、今事業主体である計画主体である東京都と、その部局の中で、どういう話があったのか。つまり、1つの仮説としては、ちゃんと俺たちに根拠を示して、中止申し出て来いと言われたんじゃないですか。だから、検証しなきゃならなくなりました。で、市長が、コンサル出身の方なんで、それ必要だねって自分で判断して、部局に指示したのかも知れないけども、多分そうじゃないんじゃないかと僕は思ってます。だからこの、東京都からきちんとしたデータなり、なんなり話持ってこいと言われたんじゃないですか。それ若藤さんどうですか。市が独自に内発的に検証しようというふうになったんですか。というのは、前回の、現在見てますけど、第四次の整備計画が持ち上がった時には、50年経ったわけですよ、計画ができてから。その時は市の中で検証しようって話じゃなくて、当時の聞いている話だと、都市計画課長が市町村の集める時に何も発言しませんでしたと。稲葉市長からも何も言われてませんでしたと。スルーしちゃったわけですよ。で、第四次に採用されちゃったわけですよ。ところが、今回、5次になるのか、もっと別のスキームになるのか分かりませんが。突然ですね、検証しなきゃいけないってことになったんです。それが1つお伺いしたい。どういう経緯があって、誰が言い出して検証を始めたのか。2番目はですね、さっきから田部井さんの方から、客観性、公平性、透明性で全く問題がないということをおっしゃってますけど、こういうのが環境アセスメントとかですね、どういう進め方でやるかっていうのは実は、客観性っていうのは、あの問題があるんです実は。市民が入ってない計画ってことになると思う。必ずこういう形で紛糾してしまうんですよ。だからそこに大きな問題があったんです。で、あの・・・とか自治体とか町会長の意見聞いたりとか、それから市の職員の意見を聞いて、重みづけをやってるんですよ。そこで客観性がどうやって担保されたのかなって。出てきた結果、1次検証はこのスキームの中で、3・4・11は1位になっちゃったわけですよ。で、3・4・1が2位かな。これをはっきり言って見え見えの結果だったんじゃないですか。これを基に、2次やりますって時に、さっきも少し出ましたが、1位になって、下駄をあげられて、ボンと提示されたものについて、必要性がないっていう判断をするっていうのは、余程のこと

都市計画課長	がない限りできないんですよ。つまり、これは結論がもう見えていて、はめ込まれた、客観性が偽装された検証なんです。だから、白井さんも騙されていたかも知れない。今、さっき言ったけども、客観的なデータで、色んな防災が必要だ、1次検証に固執されてたけども、なぜそうなったかっていうと、これ仕組まれていたからです。それが見抜けなかったあなたにも責任はあります。大きな責任があると思いますよ。もう1つ聞きたいのは、白井さんが市の方針で宝だと言い、公約で守ると言って、この自然環境、生態系、これはけは30 kmですかね、20 kmもあるんだけど、もう残ってるのはここと、三鷹市域と調布市域ぐらいなんですよ。これを再生してやってきて、それを壊すような、傷つけてしまうような都市計画道路を作る必要性が上回っているっていう、判断、根拠になっているのは、あなたが、どういうふうに、このはけに残っている自然の価値というものをどういうふうに捉えてるかかってことなんですよ。そうじゃなかったら、第1次検証で底上げされて出てきたものが、2次検証で必要性は否めませんっていう結論にはならないと思うんです。これをそのまま通してしまったら、●●●でないけれども、子々孫々に渡る、何と言うんですか、禍根を残すということをおっしゃいましたけど、そのとおりだと思うんです。ここが政治判断であるべきだと思います。以上です。 事務的なところについては、私から御説明させていただきます。まず、都と部局の間の話ということで、どういった経緯で、今回の検証に入ったのかという辺りを御説明させていただきます。これにつきましては、まず今回の問題に対しては、都施行路線ということがあります。本来でしたら、我々何も権限がないというところなんです。しかし、今回の特に問題が複雑なのは、今回第四次事業化計画で決められた優先整備路線ということで、第四次事業化計画は小金井市も入って決められておりますので、これは小金井市も当事者となって優先整備路線が決められている、しかも都施行の路線だということなんです。こういった路線に対して、反対、見直しを主張しなければならないという課題がございました。これについて、一方でマスタープランもございました。このマスタープランは市議会、市民の方、都市計画審議会も入りまして、皆さんで決めたものでございます。市長の公約ですけれども、これは我々当然実現をするために頑張るわけですが、こうやって皆さんで決めたものが最上位の計画にございますので、これに反らずして、一方的に政策を決めることはできないということがございましたので、このマスタープランに沿って、手続きを進めなければいけないということになっております。このマスタープランを少し御紹介いたしますと、東京都及び関係市と連携して、都市計画道路の検証を行い必要に応じて見直すべきものは見直していきます、ということになっております。ですので、手続きとして、我々は検証しなければいけなかったということでございます。あと東京都に対しましても、その理由の説明が必要でございます。これは、一度、第四次事業化計画で必要性が検証され仕切ってるからでございます。検証され仕切ってて、我々当事者であるにも関わらず、どうして見直しを主張するのかということについては、合理的な根拠説明が必要になって参ります。このようなことからどうしてもやっぱり必要性っていうのは、我々、一度、四次の時にやっていたとしてもさらにやって、その根拠を持って必要なのかどうかというのが、もう一度説明しなければならなかった、ということでございます。あとさらに、その客観性がないんじゃないかと、という御質問でございます。どうして、その重みづけの調査の時に、市の職員が入ったのか、ということでございます。他の例を我々参考にしながら、都市計画審議会等にも御意見を賜りながらやり方を決めてまいりましたけれども、他の自治体の例を見ますと、我々は市民の方にも入っていただきましたが、他の自治体は市の職員だけで決めております。その理由ですが、他の自治体の例を見ますと、市の方針、あと方向性、市の課題ですね、こういったものと、都市計画道路についてこういったものがきちんと把握できていないと、本来なら、その重みづけはできないだろうと、そういう考え方から、他の自治体では市の職員だけでやっているということでございます。ただうちの市の場合は、市長の方針もございまして、それでは民主的な決め方ではないということでしたので、市の職員も一定入りましたけれども、市民の方にも入っていただきまして、アンケートをとって、その重みづけをやった、ということでございます。その重みづけにつきましても先程3回御参加いただいて、御協力いただいたということで大変ありがたく思っておりますけれども、中々難しいアンケートでございましたので、我々は説明会という形にして、説明会をした上で、御参加をいただいて、できるだけ市
--------	---

市長	民の方にも御協力いただきながら重みづけをやってきたということでございます。私からは以上です。 国分寺崖線の価値をどう捉えてるのかという質問があったと思います。国分寺崖線はけの生態系や野川、そして草原の生態系、これが一体となって、三位一体となって、素晴らしい環境を作ってるっていう認識です。ですので、あそこの各自然、文化、環境の重要性ってのは私としては理解してるつもりですが、その上でもですね、これまでの様々な検証結果を踏まえて、自然、そういった環境も大事だけでも、道路も、私としては、今回、大事だと捉えざる得なかったと、ということで、どちらがっていうわけではありません。両方大切です。 (会場からの声あり)
都市整備部長	それでは、次の方。何名かいらっしゃいますけれども、会場の都合がありまして今、先に御案内をさせていただきます。撤収の作業もありまして、午後8時。8時がリミットになりますので、その関係もありますことから、なるべくお知らせには3分程度でお願いしますというふうに示させていただきますので、まず順番に、発言されてない方優先させていただいて、4名ですか。それではまず、はい。
参加者	撮影、録音等、大丈夫です。前原町から来ました●●●と申します。こんばんは。まず最初に一点、1部がね、どうしてもね、いらない。あれはね、いらないと思うんですよ。どうですか、もういっぱいもう帰っちゃいましたよね。もともとのその資料自体の、根拠が薄くて、足りないものだらけで、途中であると、ああいった、もう全然足りてないようにね、途中資料で長時間、時間をすごい取られて、それよりもやっぱり2部だけでやっていいのではないかと、これは意見です。私は免許取りに来た時、そのあと、はらっぱ祭りで、すごい公園だな武蔵野公園の側に住みたいなと思ひまして、それで15年ぐらい前に、公園のそばに引っ越してきました。このね、住んでみたら本当にいいねって最初の印象よりもっと好きになりました。保育園生とか幼稚園生が遊びに来たりとか、野球やったり、サッカーやってる子供たち、学童保育所の子供たちがあそこで遊んだりとか、みんなすごくこの公園を愛しています。静けさがあるって、酸素が濃く、空気も良く。でね、その公園がどれぐらい自分にとってかけがえのないものか、多くの人にとって、失って欲しくない。それがやっぱり道路があるとね、どちらもって中々いかないと思うんですよ。虫とか、水中、水の中の生き物とか鳥とか、色んな生き物もいます。アンケートで、子供たちとかね、やっぱり、たぬきや虫には無理かもしれないけど、そういった命のことも考えて欲しい子供たちの意向も汲んで欲しいです。そういったものがね、やっぱり欠落してるんじゃないかなと。この都の独自検証、都じゃない、市の独自検証ですか。これがそもそも間違えてるんじゃないかなと。それを市のそちらに座ってらっしゃってる都市整備部長さんとか、都市計画課長さん、市長、副市長、事務局の方にね、もう一度、本来の正しい検証のやり方で検証をやり直してもらえたら、そしたらこの道はいらないってことが明らかになるのではないかと思います。その中に自然のこととか、この間失ってしまうもの、予算もそうだけど自然のこととかが加味されてる要素が余りにも少ないんじゃないかと。その中で検証されているから、そういった間違えた結果になって、それを見てね市長さんがこれは必要だな市民のために必要だなおっしゃったんじゃないかって、この苦渋の選択をされたその検証自体が間違えてたんじゃないかなと思います。ですので本当に、この前ね、都に提出できなかった、しなかったってことはラッキーだったと思うんです。今まさに、ここでやりませんと、やっぱこの都道はいらないっていうことをおっしゃっていただけたらもう頑張り、相当頑張ります、協力します。皆協力しますよね。東京都に跳ね返して、この道路はいらないと、そういうね、すごく力ある市民が多いと思うんですよ。市民だけじゃなくって、小金井の宝でもあるけど、東京都の宝でもある。これをここ守ろうと、この都道はいらないって言って、応援する人はとっても多い、いっぱい力になると思うので、是非今ここで、皆ね、市の方たちも、市長も、汗水垂らしてすごく頑張ってもらいたいと思う。その頑張りがちょっと別の方向にいつちゃってると思うんで、都道をね、失くすこれ、この優先道路計画から、今年

市長	1年ですかねもうちょっと踏ん張れば、外してもらえるかもしれないんですよってところをね、一緒にこれから頑張りませんか。検証をやり直すまでもなく、この計画止めますと東京都に言うってことを、今日、約束していただけたらなと思います。つらそうにずっとされてらっしゃる、これすごく悩まれてると思うんですよ。今ここで、言っていただけませんか。都道は断ると、お願いします。 大きな力は、めちゃくちゃ感じております。色んな意味で、はい。まず、色んな御配慮のある言葉をいただきましてありがとうございます。ただ、今ですね。まずはこの間の検証の結果を含めて、今の現状をお伝えしているところです。この説明会で、本当にもう、沢山の声をいただく、声というのは、もう本当に厳しい、厳しいお言葉をいただくというのはもう大前提でやっておりますが、まずちょっと今日の段階では、今後、どうするっていうところについては、ちょっと回答は、すみません。できません。これまで説明してきたことが、中々十分説明できてないということも含めて、不十分なのも伝わっておりますので、この説明会、あと、3回もありますし、それ以外のちょっと懇談の場を設けるっていう話も昨日しましたし、そういうことも踏まえてですね、今後、どうするかっていう対応については、また検討して参りたいと思います。
都市整備部長	はい。それでは次、マイクお願いします。
参加者	東町に在住している●●●です。色々市長辞めろとか、色々意見もありましたけども、私は必要な道路は作ると、必要な道路までは必要でない道路までは作る必要ないと、こういう自然環境を壊してですね、必要でない道路まで作る必要はないというふうに思ってます。白井市長辞めろ辞めろという声も出てますけども、この東京都の都市計画道路を止めることができるのは、白井市長です。白井市長がNOと言え止まるはず。白井市長はですね、市長に立候補する時に、公約としてね、都市計画道路を中止要望していきますということで当選されたんですね。それ当選されてもう3年ぐらいなんですかね。で、当選したらあとは知らない。道路の必要性は否めないという結論になってるところですね。それをね、しかもその1次検証、2次検証、市の予算1千2、3百万使ってね、自分が、その都市計画道路が必要ないということを裏付けをするための材料として使ってるというふうにしか私は思えないですね。ちょっと卑怯と思いますよ。だから、止めてください。市長辞めてくださいと言うんじゃないで、市長しか止められないんですよ。お願いします。それとですね。色々検証やってる結果ですけども、1次検証の話が出てましたけど私も2回検証に参加したんですけど、意味が全く分からなくてですね。ほぼ白紙回答だったですね。アンケートの内容の説明が不十分で重みづけの説明もなかったですね。で、27街路別にアンケートのこの表にも出てますけども、順位付けされてますけども、27街路別にアンケート取ったということは全くないですね。これをですね市の職員、課長ですか。17名が勝手に順位付けした、恣意的な思惑通りの順位になったと思うんですよ。しかも、3・4・11が1位と3・4・1の方が3位と2位と4位となってるんですね。これは市の思惑通りになってるというにしか思えないですね。是非市長を辞めさせるのが目的じゃなくて、我々は都市計画道路を止めるのが目的なんで、その辺をよく、市民のこの暑い中、頑張っている姿を受け止めていただいてですね、是非東京都に中止の申し入れしてください。お願いします。
市長	すみません。ちょっと今お答えできるのは、まず御意見として受けとめさせていただきます。
都市計画課長	1次検証の進め方について御指摘いただきましたので、私から御説明させていただきます。決して恣意的に結果を導いたものではございません。全てその検証の方法についてはですね、既に公開されておりますその報告書の8ページ、9ページ以降に、その経過とその採点の方法、採点の結果も全て公開しておりますので、そちらを御参照ください。よろしく願いいたします。

都市整備部長	はい。それでは、次のまず一番。次伺います。
参加者	録画、公開全部OKでお願いします。なるべく拡散していただいた方がありがたいです。ぶんじの縄文探偵団という国分寺で情報が面白いよっていう会をやっている、前原町に住んでいる●●●と申します。皆さん、この地図で、今本当に道路ができようとしている3・4・11は、公園をぶち壊してまで道路をつくりたいと思っている道でございます。今回説明会を開いていただいて、本当にありがとうございます。こんなにだめな計画、だめだめで恐ろしい計画があるんだということを皆に教えていただいて、ありがとうございます。だから、ここで皆さんが動いて、行政の方も改めていただいて、こんな計画を止めようっていうふうな動きになったらいいなあと、今日、昨日と参加して、たった2日ですけども、それを重く重く思いました。本当に行政の方60歳の定年までで与えられた仕事を全うして、先輩方からのお仕事を引き継いで、今の自分の地位をあげて、定年まで頑張ればいいと思うんですけど。それが本当にいいことなのか、改めて考え直していただきたいと思います。旧石器時代、縄文時代の人が、この野川のはけのあたりを選んで住んでたわけですね。その遺跡、世界的に貴重な遺跡が、この武蔵野公園の中にもあるし、野川の辺りにもあるんですね。そんなところを、こんな大事なところを、都から言われたもので、お金がつくものだから、決められたことを繋げていかなきゃいけないって、やってるのはバカバカしくありませんか。人生じゃなくて人類じゃなくて地球全体の自然の環境とか、そういうことを考えて、本当にやってるかどうか。それを、皆さんに聞きたいですし、小金井市も聞きたいですし、世界中にこれは問いとして出していく問題なんじゃないかと思った。本当にたったこの2日で何も知らない人が気が付いたことでございますので、説明会を開いていただいてありがとうございました。この考えをもっとちゃんとみんなに届けるにはどうしたらいいかっていうことと、これが撤回できるかどうかっていうことは、今の私には分からないんですけども。色んな方の御協力をいただいて、やりたいなと思います。私は白井さんに一票を入れました。それは、この計画が嫌だと思ったからです。でもこんなにひどい計画で、人類、人生、地球にとっていけない計画なんだということが、あるんだっていうこと、ちゃんとこういう発言があったっていうことを議事録にも残していただきたいですし、皆さんの御協力もいただきたいと思います。いかがでしょうか。本当に嫌ですこの話は、何とか撤回して欲しいです。
都市整備部長	御意見ということで、はい、次の。
参加者	行政としては、どういうふうに考えてこの事業を進めようと思っているかということを伺いたいです。
市長	御意見ありがとうございます。まず、行政としてどのようにこの事業を進めようと思ってるかっていう最後のところが質問だということなんですけども、これ都施行路線ですので、市でやる事業ではありません。あくまで、優先整備路線として、この指定されてる2路線に対して、市としてどう対応するかっていうことがこの間求められてきましたので、その経過について、市長報告を出して撤回したことも含めて、御説明をいたしました。改めてその再整理をするっていうことを言ってるんですけども、正直中々難しい状況で、いずれにしても、市議会第3回定例会9月にまた市議会定例会がありますので、この説明会も踏まえて、今後、市としてどう対応していくかということについて、またちょっと説明をしますという、そういうことを述べておりますので、ちょっと今、今後、どうするかっていうことについて具体的には述べられませんが、また、今後、市としての関わり方、対応の仕方っていうのを、何かしらやっぱり決めて、お知らせするっていうことになろうかと思います。以上です。
都市整備部長	はい、それではお願いします。 (会場からの声あり)

市長	私も含めて行政です。はい。すみません。
参加者	いくつかあるんですけども、中町の●●●と申します。1部にも絡むし、2部にも絡みますけれども、先程から市長はですね、今回、2路線の特に3・4・11を容認という受け取られ方をできる市長報告をされました。その時にですね、必要性は否めない。で、昨日今日聞いてると、そんなに積極的に必要性があるというふうにも言ってるわけではないみたいなお話もありました。今日もまた今度は、もう一方、検証の中では合理性という言葉を使ってですね、自然への影響ということが、どれ程のものなのかっていうのを検証して、変な言い方ですけど、はかりにかけて必要性のほうが高いと思ったんで、中止要望、見直しの要望を出すことは止めました。せいぜい必要性で道路はつくった上で、色々配慮すべき環境に影響を与えることについては、東京都に少し物申していきますと。あくまでも道路を作ることはいいですよと。今度、橋りょう型っていう形で道路が作られるのであれば、それも環境に配慮してやってくださいと。基本的に、容認っていう言葉は使ってませんけども、推進していいですよっていうメッセージを今与えてるんですよ。確かに市長報告は撤回されましたけれども、今、皆さんも御存知だと思いますけれども、ほぼ10年前に第四次っていう事業化計画でこの2路線は優先整備路線になりました。もうすぐ来年の3月で、この10年というのは終わります。だから都は一生懸命ですね今、小金井市の田部井課長とか、若藤部長も含めて、東京都の協議会にもう既に何度も検討会議に出て、今のところですね、追認してるんだと思うんですよ。東京都は、来年4月からの新しい整備の方針、具体的に引き続き、例えば、この2路線だけじゃないですけども、この2路線について、優先整備するかどうかっていうのを今協議し決定しようと、その場に既に小金井市は参加してるんですね。市長、失礼。課長、部長がですね。何を言ってるのか分かりませんけれども、少なくとも、見直しをして欲しいと、2路線についてはですね、小金井の市民は全く同意してない。民意はやっぱり、自然を大事にして、必要かどうか非常に曖昧な段階でですね、これ以上、事業化に向けての動きをするのは止めて欲しいという声が根強いんだということさえ、言っていないと思います。これはね、もう時間がないんです。東京都全体の第5次計画になるんでしょうか、次の計画は3月までに途中パブリックパブリックコメントがありますから、また小金井の市民は沢山出すでしょう。それでも、東京都は、優先整備路線に再びする可能性がすごく高いんですよ。今極めて重要な時期に、白井市長は、これを容認するというふうにひっくり返ったわけですよ。ですから、協議も何もないんですよ。言った、容認した上での協議なんていうのはですね、もう大したことじゃないんです。工事自身が止まるわけではないんですよ。道路自身が止まるわけではないんですよ。そういう事態を白井市長は今判断しちゃったわけですよ。だからこれは、9月に何か再整理して新しい方針を提示しますって。少なくともですね、昨日今日のこれを見れば分かりますよね。市民は、引き続き、白井市長を当選させた時と同じように、この2路線については、中止を求めているんですよ。このことについてはね、白井市長っていう主語じゃなくてもいいですよ。小金井市民は、東京都の都市計画決定、2路線の優先整備路線については、多くが、多数が反対してるんですよ。それは私自身が当選したことによって、その民意ははっきりしてるんですよ。その後の様々なことで見てもですね、それが何%とか、いうのは正確には分かんないでしょ。民意ですからね。ただ、積極的に作ったほうがいいのかっていうことが多数ではないことだけははっきりしてますよ。昨日今日見たって分かるじゃないですか。そうですよ。最近では、都議選の結果だってそうじゃないですか。もしですね、その民意が変わったんじゃないかと、白井市長が思ってるのであればね、今回この2,000人無作為アンケートをやりましたよね。こんな寝ぼけたアンケートじゃなくて、2路線について皆さんどう思いますかっていう無作為アンケートしたらどうだったんですか。それは変な結果が出るとやばいからやんなかったんじゃないですかみたいな勘ぐられるわけですよ。堂々と、こういうことで、例えばですよ、市長は、公約では、中止、見直しと掲げたけれども、ちょっと必要性もあるんじゃないでしょうかと私は思いますっていう意見をつけてでもいいですよ。皆さん2路線について、率直な声を上げてくださいますと。それも、選ばれた人だけが、声を上げるんじゃないとですね、要するにくじ引き民主主義って最近言われてますけれども、無作為抽出で世代ごと、男女様々配慮した上で、無作為抽出でやった結果を尊重しますので、それをバックに、東京都に対しても意思表示しますので、是非協力し

てアンケートに答えてくださいと、やったら良かったじゃないですか。迷ってるんだったら民意に聞いてくださいよ。それぐらい、だから今回の問題はね、もっと民主主義がね、崩されてるという危機感すら持ちますよ。これを少なくとも今、現市長はですね、これ以上ひどくしないで、対応していただきたい。9月には表明すると言ってますけれども、その表明はですね、自分が意思が迷いがあるのであれば、市民の意思を伝えるだけでも十分ですよ。小金井市民は中止見直しを求めているんだと。私はちょっと迷ってるけどいいですよ。少なくとも、9月っていうのはもう時間がないんですよ。今夏休みですよ、この暑さですよ。少なくともそこで、東京都の動きに対してですね、小金井市の意思表示をするように、これは絶対してもらわないと事態はスويسスイスイ建設の方に向かって、いずれもう来年早々にでもですね、3・4・11の方は優先整備に引き続きなってますね、測量が始まりますよ。今、それだけに耐えられる情報が予定地の人たちに伝わってるんですか。こんな一般的な市民説明会じゃないですよ、自分の財産を取り上げられるという当事者に対してですね、どこまでやろうとしてるんですか。それもできずにですね、東京都に全く意思表示もせずにですね、事実上容認の道にひた走るっていうのは許されないですよ。これはですね、まずだから具体的には民意をはかるって、少なくともそれだけでも、東京都に伝える。あるいは、それもしないで、心改めてですね、自分もやはりもう1回見直しの点で、意思表示をするっていうんだったらそれはそれで、9月に間に合うでしょう。協議が必要だったのは当たり前ですよ、東京都とか周辺市町村に。府中市とか三鷹市ですか武蔵野市。それはやっていいですよ、ただその時に、僕どうしようかじゃないでしょう。小金井市としては、何とか見直しをして、できれば作らないほうがいいということで皆さん、関係市の協力もいただきたいということで、率直に申し入れればいいんじゃないですか。その上で協議をすればいいんじゃないですか。協議ができないっていう選択をなぜとるんですか。今はそういう選択を取ってますよ。課長と部長さっき言った検討委員会です、そういう意思表示をしてるんですか。2路線については、ちょっと異議申し立てをしてるんですか。協議をしようなんてことを発言してるんですか。その辺を全て教えてください。それともう1点。客観的で公平な1次調査もやりましたと、田部井課長はもう何度も何度も言ってますよ。第四次整備計画でですね、事業化優先整備路線に2路線が選定されました。今回もう間近ですから、東京都は、引き続きのために、その根拠付けを考えてるでしょう。その最大の根拠付けはですね、交通量なんです。交通量が将来の交通量考えた時に、増えていくと。通行量がですよ。ここに書いてある交通流動推計ってやつですが、将来、今日の説明の中にも出てきましたよね。市は独自にやりましたと。平成27年度、道路交通センサスのOD表、ほとんどこれ意味不明でしょ。僕もずっと結構勉強しましたが、ここの問題。本当のOD表とか言ってもですね。ただ、これで、これを根拠に、将来予想を東京都はしたわけですよ。分かりますよね、そちらの方は分かりますよ。市長も分かっていると思いますよ。それで、私のあれが間違っていなければですね、2005年度を基準年にして、その時の交通量を、基準にしてですね、これ、2030年までにどれだけの交通量が増えるのか減っていくのか、その推移っていうのを予測してるんですね。それを、それに基づいて、第四次の選定は決められてるんですよ。僕はですね、僕だけじゃなくて、ここにいて色々この10年間でですね、この都市計画道路に振り回されてきた多くの市民はですね、本当にだって日常的な実感、それはですね、30%増えるっていう前提なんですよ、それは御存知ですよ。30%。ところがそれはですね、既に、10年、第四次から10年経ちましたよ。皆さんの実感でですね、これ交通量増えてますか。あるいは渋滞は増えてますか。増えてないんですよ。これはね、独自検証をするっていうんだったらね、交通量がどうなってるのかっていうので、どうして市は独自に調べないんですか。これ調べると、増えてないっていうことが明らかだとか、減ってるんですよ。これは東京都も知ってます。国土交通省が5年に一度やる交通センサスっていうここにも引用されてますけれども、交通センサス、要するに今どれだけ交通量があるのかっていう5年ごとに調べてるわけですよ。そこにおいてはですね、減ってるんですよ。多いところでは30%ぐらい減ってるんですよ、ポイントによっては。このことについて1次検証で触れてますか。独自に調べましたか。その根本的なデータを明らかにせずにですね、この第1次検証も一番新しい分厚いやつですね、道路に関する検証報告書まとめ、3月に出た、この中にも一切触れられてませんよ。今度出た、今日説明いただいた中で、将来推計、これ増えるって前提でしょう。中身書い

	てないんですけど、増えるって前提ですよ。本当に増えるんですかこれ。市が独自に計算して、OD表で導き出したというふうに書いてますけれども、本当に増えるんですか、白井さん増えると思いますか。政府の調べ、様々な調べでもね。交通量が減るんですよ。だから、少なくとも、第四次を東京都が決めた時、1歩譲ってですよ、の時よりか必要性っていうのはですね。最大の根拠とされた交通量が減っていくっていうのが現実で明らかになってきてるわけですよ。だから白井市長は堂々とですね、第四次の選定の時と状況は、社会情勢が変わったんだと。変わっているんだというのを言えればいいわけですよ。それは、都市マスに沿ってるんですよ。その上で、必要性があるかないかを検証して、次の計画に行くっていうのが当たり前じゃないですか、行政としては。一方ではですよ、2次検証で合理性と言っている要するに自然環境とか生物多様性についてですよ。これも東京都も調査して、もう、1,000種を超える動植物がいて、重要種だって100種以上いると危惧種ももちろんいると。そういうことの中でですね、自然再生地域での保全活動、回復活動もですね、それなりに大きな成果を上げて、猛禽類も当然、巣立ちをするようなですね状況に今なってるわけでしょう。東京都は一方でね、道路道路って言いつつ、一方で生物多様性っていうのを強調してきている。地域戦略っていうのを作って2030年までにはですね、回復軌道に乗せるって言うてるんですよ。東京都自身がですね、このはけと国分寺崖線とか立川崖線について、はけについては、東京における緑の骨格っていうふうに位置付けてるんですよ。これが開発、道路等によって、極めて危機的な状況にあるっていうのも、東京都の地域戦略の中には書かれてるんですよ。だから、幾らでも東京都と協議し論争できるんですよ。だから、市長はですね2年間、3年間でですか、もうすぐ。その中で堂々とですね、協議に入ればよかったんですよ。最初からですね中止しますって東京都が言うわけじゃないですよ。ただ、止めさせるための根拠は必要でしょう。だから、検証も必要だったのかもしれませんが。ところが誤った、公正でも何でもありません、恣意的な結果を導き出されるようなですね、それこそ、そういう道に乗っちゃったわけでしょう。まだ今からだったら降りられますよ。それが、今市民説明会をぎりぎりで行っていることの意味なんですよ。で、民意を聞きたいんだったらもっと自信が持たたいんだったら民意を聞きなさいよ。すぐ補正予算組んで、アンケートを無作為でもう1回5,000人ぐらいのアンケートをやったらどうですか。それで、八割方がですね、賛成だっていうんだったらそれはまた状況は我々の認識も違ってくるでしょう。そんなことはないですよ。だからそういうもし結果が、逆に言えば、新しい民意も同じ。白井市長を押し出した民意と同じ民意が出るはずですよ。中止見直しですよ。そんな手間をかけさせないで、白井市長自身がもう1回原点に立ち戻ればいいだけのことですよ。そうすれば明日にでも、東京都に対して意思表示ができるんですよ。これで、だらだらいたら最悪ですよ。それはどっちにしても市長としての仕事をしてるという状況ではないってことですよ。是非別に、この場はまた明日もありますので、じっくり考えて回答いただければと思います。
都市整備部長	ありがとうございました。他に御質問があるようでしたら次の方を持ちまして。
参加者	1つだけ答えて、交通量は減っていると思いますか、増えていると思いますか。白井市長に聞きます。
市長	減っているという認識です。 (会場からの声あり)
事務局	今、市長からお答えがあった交通量に関してですけども、近年周辺のネットワークの交通、ネットワーク整備進捗してるということもありまして、交通量が分散してるという状況もございます。ですので、その部分を取って減っている、増加しているっていうところ判断は中々難しいところではございますが、例えばですけども、調布保谷線の開通によりまして、天文台通りの交通量が30%減少した、そういったようなデータもありますので、減っているということは言えるのではないかと考えております。

	(会場からの声あり)
参加者	すみません。あっさり減ってるって市長から出てくるとは思わなかった。減ってるんですね、これ結構大事な答弁、答弁じゃないや、回答だと思うんですね。これは2路線だけじゃなくてですね、今日第1部で報告された、これからの16路線ですか、市施行のも含めて、都市計画道路、未着手の部分が残ってるわけですね。都施行も、五日市街道の問題も出ましたけども、これ全体に影響するわけですよ。これ全体が小金井の交通量が減ってるとしたらどうなのかっていうのがね、もう1回問われるんですよ。恐らく、私はこの今日の説明ですよ。平成27年度道路交通センサスのOD表をもとに、将来ネットワークにより、将来交通量を実施して、いうふうに書いてます。その内容結果は、僕には手元の資料ではよく分かんなかったんですけど、増えてるってことで、推定してませんか。
事務局	すみません。じゃ、もう一度すみません将来交通量のところでお話させていただきます。今回市で将来推計の検証というものをやったのは今回初めてでして、その前のデータというのは正直言って分かりません。ですが、市におきまして、例えばですけども平成27年度と令和3年度の交通センサスを比較させていただきますと、小金井街道の小金井橋付近では、12時間の交通量は9,536台から9,198台へと減少していることも確認しています。そういったことでいいですよ、減少してるということもございます、はい。そういったところでお話をさせていただいております。
参加者	ただ、第四次のはちょっと、探せばそちらに資料があると思いますけれども。増えるっていう、要するにですね、混雑度っていうのが新しく出ましたよね。混雑度。交通センサスにはですね交通、失礼、混雑度っていうのも、表示されてるんです。だから第四次の直前の、平成27年の交通センサスを見るとですね、この周辺のポイントの混雑度っていうのが書かれています。それで、その混雑度が1.25を超えるところを優先整備にしましたっていう理屈で選定されてるんです。ところがですね、12か所ぐらいの周辺のポイントで、1.25を超えてんのは3か所です。平成27年の、センサスの結果では。それで、それから5年経った令和3年ですね、に、一番それが直近の交通センサスなんですけれども。3つあった1.25を超えた箇所が1か所に減ってます。他の多くはですね、1%前後ですよ1%以下も結構あります。ということはですね、国交省の調べでも交通センサスを見ても、混雑度が軽減してるんですよ。交通量ももちろん減ってますよ。それが今の状況なんですよ。この傾向は、今度の東京都の計画は15年先までっていうことで、計画を立てようとしてますけれども、これからもっと減っていくんですよ。これが常識的な見通しじゃないですか。これはね、田部井さんやね、部長が絶対知ってることなんですよ。市長にもですね、市民団体が何度となくレクチャーしてますよ、当選した後も。ただその重大性を認識しなかったんじゃないですか。だって、道路交通量が減っていくのと増えていくのと前提が全く変わってるのにならね、道路を作るなんてのは、ちょっと信じられない結論なんですよ。だから、多分、今日1日も1回考えればですね、元に戻ってもいいようなレベルなんですよ、白井さんの判断は。だから、そこが理論付けがまだ不十分だと思うのであれば、色んな専門家や市民運動やって、それなりにプロではないけれども、実際に道路の交通量渋滞調査をやってるグループもいるわけですよ。今日も来ますよ。もっと厳しい数字ですよ。なぜ今必要なのかっていうのは、根本から問われてるわけですよ。ということで、はい、きりがいいんで。
都市整備部長	はい。それでは、先程ご案内させて、あと、最後1人とさせていただきます。
参加者	報告書の56ページ。市長開いてください。混雑度を算出結果、皆さんも見てください。この小さい文字で、私も小さくて目が見えないぐらいだけど、これ見てください。混雑度の表です。将来の交通量に対してですよ。1.07のところ、黄色です。全部あとはね、1以下ですよ。そして、その次に、全部道路を作った場合どうなるか、そういう表があるでしょ。57ペ

	ージ。５７ページいいですか、評価の取りまとめ、これ混雑度ですよ。そしたら、一番左に路線名が書いてあります。３・４・１１、３・４・１２のところ見てください。あのね、これは何も影響がないんですよ、作っても。他のところは、３・４・１の②一番上、東八道路の混雑度が０．９０から１．０６に増加される、そういうことが書いてある。３・４・１１、それには何にも書いてない。決定的な効果がないってことでしょ。これね、そういうことなんですよ。大きく言って、皆さんに分かりやすいやつきます。ＡＢＣ付けてありますね。ＡＢＣ付けてありますね。先程の白井市長の・・・。ＡＢＣ５９ページ、これでは何ページ。ＡＢＣ、５番ずつ分かれているのあるでしょ。そして３・４・１１が一番になってます。９．５で。これね、個票から引くと８．５になって４位になります。間違ってますよ、間違ってますよ、８．５で４位です。間違ってます、５９ページは誰が見ても、こんなんでね市民説明会やってんのか市長。課長、個票見てみろ。みんなにこれだけ迷惑かけて、どうなってんだ。おどし、おどしして３・４・１１号がね、Ａランクトップだって言ってるのに違うんじゃないか。４位じゃないか。私たちはね、毎年交通量調査もやってる。今●●●●が言ってくれたとおりだ。交通量が基本なんだよ全て。だからね、この混雑度の表、わざわざ細かくして見えないようにしてるかもしれない。みんなね、ここを見るべきですよ。全線整備した時に、０．２とか０．３とか、それだけのため１，７００億円使うということになってる。どういうことだよこれは。道路を作ってもスカスカになるという将来像ね、自ら書いてるんですよ。分かってんのか次長、お前どこ見てるんだ。副市長か、分かってんのか。どこか表みてみろ。市長分かってんのか。毎日毎日、人をこんなに翻弄しておいて、分かってんのか。分かってんのかって、言ってるんだ。丸８しかないよ、これ見てみろ、お前たちはごまかしているんだよ。どこをごまかしているか分かるよ、災害の代替措置のところでごまかしているんだよ。上を通る道路を作ってね。土砂崩壊地区に２つあります。その代替道路になるから道路を作らないかんということにして丸。それで３・４・１１を無理やり１位にしているんです。誰が考えてもね、あれは災害代替にならないんですよ。土砂崩壊の災害代替地に。必要だったらね、大型スクリーンで１遍やろうじゃないか。ということで、間違ってる。きつい返事はいらない。 (会場からの声あり)
都市計画課長	今御指摘のあったのは、資料でいきます３１ページ、評価方法、指標１３ページ災害時の代替機能の件だというふうに思っておりますけれども。ここにつきましては、土砂災害特別警戒区域と土砂災害警戒区域が近隣に指定されております。ということは、これ国分寺崖線がございまして、こういう国分寺崖線が崩壊した場合にですね、その下のはけの道が、閉塞される可能性があるということであれば、３・４・１１を防災上の道路として、有効に機能するためには、都市計画道路の効果があると分かるんじゃないかというところで、評価をしたということです。
参加者	皆さんね、防災マップを見てください。土砂崩壊の箇所が書いてあります。それを見て、どちらにね、２つあるところの、仮に２か所とも崩壊しても、逃げ道は、回り道は、今ありますよ。みはらし坂と二枚橋のところ、さらに言えばＩＣＵの横の３つもある。そして、もう１つはね、あの東電の変電所なんですよ。崩壊するところは。そういう大事なところだったら、東電に言えばいいんじゃないか。すぐ直るよ。何やってんだ。
都市整備部長	はい、ありがとうございます。それでは、予定終了時間を過ぎましたので、本日の説明会はこれで終了とさせていただきます。 (会場からの声あり)
都市整備部長	撤収作業を少し進めさせていただきますが、今お答えをさせていただきます。
都市計画課長	再度御指摘を頂戴しましたので私の方から御説明させていただきます。みはらし坂もあるじ

参加者 都市整備部長	やないかという御指摘ですけれども、結局、特別警戒区域あるいは警戒区域で、災害が発生すればですね、道路が閉塞してしまいます。そうすると、緊急車両が、例えば東町五丁目にアクセスできないという事態になりますので、みはらし坂ということにもならないと思いますので、そういった点で、防災上の効果があるというふうに考えたということでございます。 3・4・11は、はけの道をまたぐんですよ。どうして代替効果があるんだよ。そもそも、変電所の敷地が、あそこはものすごく重要な変電施設だぞ。それが、崩れるんだったら東電に言えよ早く。すぐ直るよ。そういうことで、疲れた、終わらしましょう。明日もやりますよ。 それではこれを持ちまして、本日の説明会を終了させていただきます。説明会の進行に御協力をいただきまして誠にありがとうございました。意見・質問用紙の記入を終えられた方につきましては、会場入口で職員が回収しておりますので、お渡ししていただければと思います。それでは皆様お気をつけてお帰りいただきたいと思います。本日はありがとうございました。
--------------------------	--